
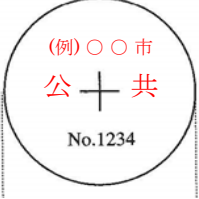
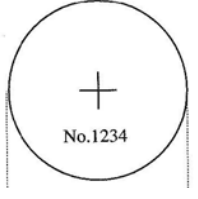
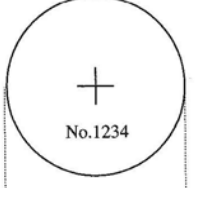


- 公共測量 - 作業規程の準則(第1刷)

正 誤 表

平成22年3月30日

箇 所	正	誤																																																
条文																																																		
第20条 (P9)、第79条 (35)、第346条 (99)	製品仕様書は当該**測量の概覧、適用範囲、データ製品識別、データ内容及び構造、参照系、データ品質、データ製品配布、メタデータ等について体系的に記載するものとする。	製品仕様書は当該**測量の概覧、適用範囲、データ製品識別、データ内容及び構造、参照系、データ品質、 データ品質評価手順 、データ製品配布、メタデータ等について体系的に記載するものとする。 ※「データ品質評価手順」は「データ品質」に含まれるため削除。																																																
第46条 (P22)、第73条 (29)、第105条 (42)、第153条 (54)、第202条 (64)、第220条 (68)、第250条 (74)、第273条 (78)、第309条 (88)、第324条 (90)、第338条 (93)、第426条 (117)	品質評価表及び精度管理表	品質評価表																																																
第62条第1項表 (P25)	<table border="1" data-bbox="719 523 1411 842"> <thead> <tr> <th>機 器</th> <th>性 能</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 級 レ ベ ル</td> <td rowspan="10">別表1による</td> <td>1 級 水 準 測 量</td> </tr> <tr> <td>2 級 レ ベ ル</td> <td>2 級 水 準 測 量</td> </tr> <tr> <td>3 級 レ ベ ル</td> <td>3 ～ 4 級 水 準 測 量 簡 易 水 準 測 量</td> </tr> <tr> <td>1 級 標 尺</td> <td>1 ～ 2 級 水 準 測 量</td> </tr> <tr> <td>2 級 標 尺</td> <td>3 ～ 4 級 水 準 測 量</td> </tr> <tr> <td>1 級 セ オ ド ラ イ ト</td> <td>1 ～ 2 級 水 準 測 量 (渡海)</td> </tr> <tr> <td>1 級 トータルステーション</td> <td>1 ～ 2 級 水 準 測 量 (渡海)</td> </tr> <tr> <td>測 距 儀</td> <td>1 ～ 2 級 水 準 測 量 (渡海)</td> </tr> <tr> <td>水 準 測 量 作 業 用 電 卓</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>箱 尺</td> <td>簡 易 水 準 測 量</td> </tr> </tbody> </table>	機 器	性 能	摘 要	1 級 レ ベ ル	別表1による	1 級 水 準 測 量	2 級 レ ベ ル	2 級 水 準 測 量	3 級 レ ベ ル	3 ～ 4 級 水 準 測 量 簡 易 水 準 測 量	1 級 標 尺	1 ～ 2 級 水 準 測 量	2 級 標 尺	3 ～ 4 級 水 準 測 量	1 級 セ オ ド ラ イ ト	1 ～ 2 級 水 準 測 量 (渡海)	1 級 トータルステーション	1 ～ 2 級 水 準 測 量 (渡海)	測 距 儀	1 ～ 2 級 水 準 測 量 (渡海)	水 準 測 量 作 業 用 電 卓	—	箱 尺	簡 易 水 準 測 量	<table border="1" data-bbox="1469 523 2161 842"> <thead> <tr> <th>機 器</th> <th>性 能</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 級 レ ベ ル</td> <td rowspan="10">別表1による</td> <td>1 級 水 準 測 量</td> </tr> <tr> <td>2 級 レ ベ ル</td> <td>2 級 水 準 測 量</td> </tr> <tr> <td>3 級 レ ベ ル</td> <td>3 ～ 4 級 水 準 測 量 簡 易 水 準 測 量</td> </tr> <tr> <td>1 級 標 尺</td> <td>1 ～ 2 級 水 準 測 量</td> </tr> <tr> <td>2 級 標 尺</td> <td>3 ～ 4 級 水 準 測 量</td> </tr> <tr> <td>1 級 セ オ ド ラ イ ト</td> <td>1 ～ 2 級 水 準 測 量 (渡海)</td> </tr> <tr> <td>1 級 トータルステーション</td> <td>1 ～ 2 級 水 準 測 量 (渡海)</td> </tr> <tr> <td>測 距 儀</td> <td>1 ～ 2 級 水 準 測 量 (渡海)</td> </tr> <tr> <td>水 準 測 量 作 業 用 電 卓</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>箱 尺</td> <td>簡 易 水 準 測 量</td> </tr> </tbody> </table>	機 器	性 能	摘 要	1 級 レ ベ ル	別表1による	1 級 水 準 測 量	2 級 レ ベ ル	2 級 水 準 測 量	3 級 レ ベ ル	3 ～ 4 級 水 準 測 量 簡 易 水 準 測 量	1 級 標 尺	1 ～ 2 級 水 準 測 量	2 級 標 尺	3 ～ 4 級 水 準 測 量	1 級 セ オ ド ラ イ ト	1 ～ 2 級 水 準 測 量 (渡海)	1 級 トータルステーション	1 ～ 2 級 水 準 測 量 (渡海)	測 距 儀	1 ～ 2 級 水 準 測 量 (渡海)	水 準 測 量 作 業 用 電 卓	—	箱 尺	簡 易 水 準 測 量
機 器	性 能	摘 要																																																
1 級 レ ベ ル	別表1による	1 級 水 準 測 量																																																
2 級 レ ベ ル		2 級 水 準 測 量																																																
3 級 レ ベ ル		3 ～ 4 級 水 準 測 量 簡 易 水 準 測 量																																																
1 級 標 尺		1 ～ 2 級 水 準 測 量																																																
2 級 標 尺		3 ～ 4 級 水 準 測 量																																																
1 級 セ オ ド ラ イ ト		1 ～ 2 級 水 準 測 量 (渡海)																																																
1 級 トータルステーション		1 ～ 2 級 水 準 測 量 (渡海)																																																
測 距 儀		1 ～ 2 級 水 準 測 量 (渡海)																																																
水 準 測 量 作 業 用 電 卓		—																																																
箱 尺		簡 易 水 準 測 量																																																
機 器	性 能	摘 要																																																
1 級 レ ベ ル	別表1による	1 級 水 準 測 量																																																
2 級 レ ベ ル		2 級 水 準 測 量																																																
3 級 レ ベ ル		3 ～ 4 級 水 準 測 量 簡 易 水 準 測 量																																																
1 級 標 尺		1 ～ 2 級 水 準 測 量																																																
2 級 標 尺		3 ～ 4 級 水 準 測 量																																																
1 級 セ オ ド ラ イ ト		1 ～ 2 級 水 準 測 量 (渡海)																																																
1 級 トータルステーション		1 ～ 2 級 水 準 測 量 (渡海)																																																
測 距 儀		1 ～ 2 級 水 準 測 量 (渡海)																																																
水 準 測 量 作 業 用 電 卓		—																																																
箱 尺		簡 易 水 準 測 量																																																
第64条第3項 (P26)	3 渡海(河)水準測量 一 観測は、交互法、経緯儀法又は俯仰ねじ法のいずれかにより行うものとする。	3 渡海(河)水準測量 一 観測は、交互法、経緯儀法及び俯仰ねじ法のいずれかにより行うものとする。																																																
第127条第3項 (P49)	3 計画撮影高度に対するずれは、計画対地高度の5パーセント以内とする。ただし、フィルム航空カメラによる撮影で、撮影縮尺が4000分の1以上のとき、又は地図情報レベル500以上のためのデジタル航空カメラによる撮影のときは、計画対地高度の10パーセント以内とすることができる。	3 計画撮影高度に対するずれは、計画撮影高度の5パーセント以内とする。ただし、フィルム航空カメラによる撮影で、撮影縮尺が4000分の1以上のとき、又は地図情報レベル500以上のためのデジタル航空カメラによる撮影のときは、計画対地高度の10パーセント以内とすることができる。																																																
第173条第2項 (P59)	第173条 調整計算の終了後、外部標定要素、パスポイント及びタイポイントの成果表を作成し、次のとおり整理するものとする。 一 調整計算の成果表の単位は、平面位置及び高さの座標単位は、0.01メートルとし、回転要素の角度単位は、0.0001度とする。 二 調整計算実施一覧図は、計画図に準じて写真主点の位置、基準点及びタイポイントを表示し作成するものとする。 ※漢数字の「二」に変更	第173条 調整計算の終了後、外部標定要素、パスポイント及びタイポイントの成果表を作成し、次のとおり整理するものとする。 一 調整計算の成果表の単位は、平面位置及び高さの座標単位は、0.01メートルとし、回転要素の角度単位は、0.0001度とする。 二 調整計算実施一覧図は、計画図に準じて写真主点の位置、基準点及びタイポイントを表示し作成するものとする。 ※カタカナ表記の「二」																																																
第189条第2項 (P63)	第189条 数値図化データ及び地形補備測量データは、図形編集装置に入力するものとする。 2 現地調査等において収集した図面等の資料は、デジタイザ又はスキャナを用いて数値化し、図形編集装置に入力するものとする。	第189条 数値図化データ及び地形補備測量データは、図形編集装置に入力するものとする。 3 現地調査等において収集した図面等の資料は、デジタイザ又はスキャナを用いて数値化し、図形編集装置に入力するものとする。																																																

第342条表 (P97)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>機 器</th> <th>性 能</th> <th>摘</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3級トータルステーション</td> <td rowspan="6">別表1による</td> <td>セオドライト及び</td> </tr> <tr> <td>1級GPS測量機</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2級GPS測量機</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3級レベル</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2級標尺</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水準測量作業用電卓</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鋼巻尺</td> <td>JIS 1級</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	機 器	性 能	摘	3級トータルステーション	別表1による	セオドライト及び	1級GPS測量機		2級GPS測量機		3級レベル		2級標尺		水準測量作業用電卓		鋼巻尺	JIS 1級		<table border="1"> <thead> <tr> <th>機 器</th> <th>性 能</th> <th>摘</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3級トータルステーション</td> <td rowspan="6">別表1による</td> <td>セオドライト及び</td> </tr> <tr> <td>1級GPS測量機</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2級GPS測量機</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3級レベル</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2級標尺</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水準測量作業用電卓</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鋼巻尺</td> <td>JIS 1級</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	機 器	性 能	摘	3級トータルステーション	別表1による	セオドライト及び	1級GPS測量機		2級GPS測量機		3級レベル		2級標尺		水準測量作業用電卓		鋼巻尺	JIS 1級	
機 器	性 能	摘																																						
3級トータルステーション	別表1による	セオドライト及び																																						
1級GPS測量機																																								
2級GPS測量機																																								
3級レベル																																								
2級標尺																																								
水準測量作業用電卓																																								
鋼巻尺	JIS 1級																																							
機 器	性 能	摘																																						
3級トータルステーション	別表1による	セオドライト及び																																						
1級GPS測量機																																								
2級GPS測量機																																								
3級レベル																																								
2級標尺																																								
水準測量作業用電卓																																								
鋼巻尺	JIS 1級																																							
付録5																																								
(1) 金属標の形状と標準規格 (P224)	 	 																																						
付録6 計算式集																																								
基準点測量																																								
3.4.6 未知点座標の平均値の標準偏差 (P257)	<p>(2) 測地座標</p> <p>ϕ の標準偏差 : $\sigma_n = m_0 \sqrt{(\sigma_{\phi\phi})} \cdot (M+h)$</p> <p>$\lambda$ の標準偏差 : $\sigma_e = m_0 \sqrt{(\sigma_{\lambda\lambda})} \cdot (N+h) \cos \phi$</p> <p>$h$ の標準偏差 : $\sigma_h = m_0 \sqrt{(\sigma_{hh})}$</p> <p>ただし、</p> <p>$\sigma_{\phi\phi}$, $\sigma_{\lambda\lambda}$, σ_{hh} : 重み係数行列の対角要素</p> <p>M : 子午線曲率半径</p> <p>N : 卯酉線曲率半径</p>	<p>(2) 測地座標</p> <p>ϕ の標準偏差 : $\sigma_n = m_0 \sqrt{(\sigma_{\phi\phi})} \cdot (M'+h)$</p> <p>$\lambda$ の標準偏差 : $\sigma_e = m_0 \sqrt{(\sigma_{\lambda\lambda})} \cdot (N+h) \cos \phi$</p> <p>$h$ の標準偏差 : $\sigma_h = m_0 \sqrt{(\sigma_{hh})}$</p> <p>ただし、</p> <p>$\sigma_{\phi\phi}$, $\sigma_{\lambda\lambda}$, σ_{hh} : 重み係数行列の対角要素</p> <p>M' : 子午線曲率半径</p> <p>N : 卯酉線曲率半径</p> <p>※子午線曲率半径の記号はM'でも問題はないが、計算式集の他の部分ではMとしているため、統一した。</p>																																						
付録7																																								
付属資料																																								
公共測量標準図式数値地形図データファイル仕様																																								
(2) 図郭レコード(a) (P415)	地図情報レベル・・・・・・・・・・作業規程の準則第3編第1章第80条に従う。	地図情報レベル・・・・・・・・・・作業規程の準則第4編第1章第80条に従う。																																						

別表 1

2. 測距儀の級別性能分類 (P 428)

2. 測距儀の級別性能分類

級 別	型 区 分	公称測定可能距離(km)	公 称 測 定 精 度	最小測
特	長距離	30以上	$\pm 5\text{mm} + 1 \times 10^{-6} \cdot D$ 以下	
	短距離	——	$\pm 0.2\text{mm} + 1 \times 10^{-6} \cdot D$ 以下	
1	長距離	10以上	$\pm 5\text{mm} + 1 \times 10^{-6} \cdot D$ 以下	
	中距離	6以上	$\pm 5\text{mm} + 2 \times 10^{-6} \cdot D$ 以下	
2	中距離	2以上	$\pm 5\text{mm} + 5 \times 10^{-6} \cdot D$ 以下	
	短距離	1以上	$\pm 5\text{mm} + 5 \times 10^{-6} \cdot D$ 以下	

ただし、Dは測定距離 (km) とする。

2. 測距儀の級別性能分類

級 別	型 区 分	公称測定可能距離(km)	公 称 測 定 精 度	最小測
特	長距離	30以上	$5\text{mm} + 1 \times 10^{-6} \cdot D$ 以下	
	短距離	——	$0.2\text{mm} + 1 \times 10^{-6} \cdot D$ 以下	
1	長距離	10以上	$5\text{mm} + 1 \times 10^{-6} \cdot D$ 以下	
	中距離	6以上	$5\text{mm} + 2 \times 10^{-6} \cdot D$ 以下	
2	中距離	2以上	$5\text{mm} + 5 \times 10^{-6} \cdot D$ 以下	
	短距離	1以上	$5\text{mm} + 5 \times 10^{-6} \cdot D$ 以下	

ただし、Dは測定距離 (km) とする。

6. G P S 測量機の級別性能分類 (P 430)

上記測位方式の公称測定精度、公称測定距離及び最小解析値は、下表のとおり

測 位 方 式	公称測定精度	公称測定可
2周波スタティック	$\pm 5\text{mm} + 1 \times 10^{-6} \cdot D$ 以下	10km以
1周波スタティック	$\pm 10\text{mm} + 2 \times 10^{-6} \cdot D$ 以下	10km以
2周波 短縮スタティック	$\pm 10\text{mm} + 2 \times 10^{-6} \cdot D$ 以下	5km以
1周波 短縮スタティック	$\pm 10\text{mm} + 2 \times 10^{-6} \cdot D$ 以下	5km以
キネマティック	$\pm 20\text{mm} + 2 \times 10^{-6} \cdot D$ 以下	——
リアルタイムキネマティック	$\pm 20\text{mm} + 2 \times 10^{-6} \cdot D$ 以下	——

ただし、Dは測定距離 (km) とする。

上記測位方式の公称測定精度、公称測定距離及び最小解析値は、下表のとおり

測 位 方 式	公称測定精度	公称測定可
2周波スタティック	$5\text{mm} + 1 \times 10^{-6} \cdot D$ 以下	10km以
1周波スタティック	$10\text{mm} + 2 \times 10^{-6} \cdot D$ 以下	10km以
2周波 短縮スタティック	$10\text{mm} + 2 \times 10^{-6} \cdot D$ 以下	5km以
1周波 短縮スタティック	$10\text{mm} + 2 \times 10^{-6} \cdot D$ 以下	5km以
キネマティック	$20\text{mm} + 2 \times 10^{-6} \cdot D$ 以下	——
リアルタイムキネマティック	$20\text{mm} + 2 \times 10^{-6} \cdot D$ 以下	——

ただし、Dは測定距離 (km) とする。

一公共測量一 作業規程の準則 (第1刷)

正誤表

平成21年12月7日

ページ	行	正	誤																																																																																																																																																																																																																																				
45	下から22行目	六 設置完了後、対空標識設置明細票に…	ト 設置完了後、対空標識設置明細票に…																																																																																																																																																																																																																																				
82	上から8行目	「調整用基準点」という。)	「調整基準点」という。)																																																																																																																																																																																																																																				
82	上から15行目	5 調整用基準点の設置場所は、所定の…	5 調整基準点の設置場所は、所定の…																																																																																																																																																																																																																																				
103	下から17行目	5 観測は、往路においては中心杭高、 <u>中心杭・縦断変化点杭</u> の…	5 観測は、往路においては中心杭高、中心杭、縦断変化点杭の…																																																																																																																																																																																																																																				
154	様式1-10	<table border="1"> <tr> <td>地区名</td> <td></td> <td>数值写真</td> <td>地上</td> <td>基準面高</td> <td>撮影高度</td> <td>コース間</td> <td>C</td> <td>-</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>地方名</td> <td></td> <td>レベル</td> <td>画素寸法</td> <td>地面高</td> <td></td> <td></td> <td>C</td> <td>-</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>コース</td> <td></td> <td>計画</td> <td></td> <td>cm</td> <td>m</td> <td>m</td> <td>C</td> <td>-</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>カメラ名</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>C</td> <td>-</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>焦点距離</td> <td>mm</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>C</td> <td>-</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>飛行方向</td> <td>撮影</td> <td>No.</td> <td></td> <td>cm</td> <td>m</td> <td>m</td> <td colspan="3">統合処理記録</td> </tr> <tr> <td>N</td> <td>90°</td> <td>h:m</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>統合日</td> <td>年</td> <td>月</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>W</td> <td>→</td> <td>E</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>データ量</td> <td colspan="2">GB</td> </tr> <tr> <td>S</td> <td></td> <td>日</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>画像形式</td> <td colspan="2">白黒・カラー・近赤外</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>月</td> <td>差</td> <td>cm</td> <td>差</td> <td>%</td> <td>ビット数</td> <td colspan="2">各色 bit</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>日</td> <td>cm</td> <td>cm</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>データ形式</td> <td colspan="2">非圧縮TIFF形式</td> </tr> </table>	地区名		数值写真	地上	基準面高	撮影高度	コース間	C	-	%	地方名		レベル	画素寸法	地面高			C	-	%	コース		計画		cm	m	m	C	-	%	カメラ名							C	-	%	焦点距離	mm						C	-	%	飛行方向	撮影	No.		cm	m	m	統合処理記録			N	90°	h:m					統合日	年	月	日	W	→	E					データ量	GB		S		日					画像形式	白黒・カラー・近赤外				月	差	cm	差	%	ビット数	各色 bit				日	cm	cm	%	%	データ形式	非圧縮TIFF形式		<table border="1"> <tr> <td>地区名</td> <td></td> <td>縮尺</td> <td>地上</td> <td>基準面高</td> <td>撮影高度</td> <td>コース間</td> <td>C</td> <td>-</td> <td>%</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>地方名</td> <td></td> <td></td> <td>解像度</td> <td>地面高</td> <td></td> <td></td> <td>C</td> <td>-</td> <td>%</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>コース</td> <td></td> <td>計画</td> <td></td> <td>cm</td> <td>m</td> <td>m</td> <td>C</td> <td>-</td> <td>%</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>カメラ名</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>C</td> <td>-</td> <td>%</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>焦点距離</td> <td>mm</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>C</td> <td>-</td> <td>%</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>飛行方向</td> <td>撮影</td> <td>No.</td> <td></td> <td>cm</td> <td>m</td> <td>m</td> <td colspan="4">統合処理記録</td> </tr> <tr> <td>N</td> <td></td> <td>h:m</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>統合日</td> <td>年</td> <td>月</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>W</td> <td></td> <td>E</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>データ量</td> <td colspan="2">GB</td> </tr> <tr> <td>S</td> <td></td> <td>日</td> <td>差</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>画像形式</td> <td colspan="2">白黒・カラー・近赤外</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>月</td> <td></td> <td>m</td> <td>%</td> <td>※</td> <td>ビット数</td> <td colspan="2">各色 bit</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>日</td> <td></td> <td>m</td> <td>%</td> <td>※</td> <td>データ形式</td> <td colspan="2">非圧縮TIFF形式</td> </tr> </table>	地区名		縮尺	地上	基準面高	撮影高度	コース間	C	-	%	※	地方名			解像度	地面高			C	-	%	※	コース		計画		cm	m	m	C	-	%	※	カメラ名							C	-	%	※	焦点距離	mm						C	-	%	※	飛行方向	撮影	No.		cm	m	m	統合処理記録				N		h:m					統合日	年	月	日	W		E					データ量	GB		S		日	差				画像形式	白黒・カラー・近赤外				月		m	%	※	ビット数	各色 bit				日		m	%	※	データ形式	非圧縮TIFF形式	
地区名		数值写真	地上	基準面高	撮影高度	コース間	C	-	%																																																																																																																																																																																																																														
地方名		レベル	画素寸法	地面高			C	-	%																																																																																																																																																																																																																														
コース		計画		cm	m	m	C	-	%																																																																																																																																																																																																																														
カメラ名							C	-	%																																																																																																																																																																																																																														
焦点距離	mm						C	-	%																																																																																																																																																																																																																														
飛行方向	撮影	No.		cm	m	m	統合処理記録																																																																																																																																																																																																																																
N	90°	h:m					統合日	年	月	日																																																																																																																																																																																																																													
W	→	E					データ量	GB																																																																																																																																																																																																																															
S		日					画像形式	白黒・カラー・近赤外																																																																																																																																																																																																																															
		月	差	cm	差	%	ビット数	各色 bit																																																																																																																																																																																																																															
		日	cm	cm	%	%	データ形式	非圧縮TIFF形式																																																																																																																																																																																																																															
地区名		縮尺	地上	基準面高	撮影高度	コース間	C	-	%	※																																																																																																																																																																																																																													
地方名			解像度	地面高			C	-	%	※																																																																																																																																																																																																																													
コース		計画		cm	m	m	C	-	%	※																																																																																																																																																																																																																													
カメラ名							C	-	%	※																																																																																																																																																																																																																													
焦点距離	mm						C	-	%	※																																																																																																																																																																																																																													
飛行方向	撮影	No.		cm	m	m	統合処理記録																																																																																																																																																																																																																																
N		h:m					統合日	年	月	日																																																																																																																																																																																																																													
W		E					データ量	GB																																																																																																																																																																																																																															
S		日	差				画像形式	白黒・カラー・近赤外																																																																																																																																																																																																																															
		月		m	%	※	ビット数	各色 bit																																																																																																																																																																																																																															
		日		m	%	※	データ形式	非圧縮TIFF形式																																																																																																																																																																																																																															
279	上から7行目	については、 <u>データ取得方向</u> に…、陸方向を <u>右</u> に見た形で	については、データ取得、方向に…、陸方向を <u>左</u> に見た形で																																																																																																																																																																																																																																				
279	第48条第三号の図	<p>The diagram shows a horizontal line with several dots representing ground points. An arrow labeled '入力方向' (input direction) points to the right. Below the line, there are two arrows pointing outwards, labeled 'ひ開部' (opening part), indicating the right side of the line.</p>	<p>The diagram shows a horizontal line with several dots representing ground points. An arrow labeled '入力方向' (input direction) points to the right. Below the line, there are two arrows pointing outwards, labeled 'ひ開部' (opening part), indicating the left side of the line.</p>																																																																																																																																																																																																																																				

一公共測量一 作業規程の準則（第1刷）

正誤表

平成21年6月12日

ページ	行	正	誤
16	下から9行目	削除	2 点検の結果は、精度管理表にとりまとめるものとする。
57	下から11行目	ただし、nはモデル数、〔 〕の中・・・小数部は切り上げるものとし、 <u>nが2以下の場合はN_H及びN_Vは4とする。</u>	ただし、nはモデル数とし、〔 〕の中・・・小数部は切り上げるものとする。
57	下から5行目	$N_H = 4 + 2 \left[\frac{(n-6)}{6} \right] + 2 \left[\frac{(c-3)}{3} \right] + \left[\frac{(n-6)(c-3)}{30} \right]$	$N_H = 4 + 2 \left[\frac{(n-6)}{6} \right] + 2 \left[\frac{(c-3)}{3} \right] + \frac{(n-6)(c-3)}{30}$
105	上から6行目	また、 <u>横断面図</u> の縮尺は縦断面図の縦の縮尺に合わせることを標準とする。	また、横断面図の縮尺は縦断面図の縦の縮尺に合わせることを標準とする。
107	下から11行目	単点観測法による場合は <u>第351条第5項第二号及び第三号</u> の規定を準用する。	単点観測法による場合は第362条第5項第2号及び第3号の規定を準用する。
110	上から7行目	4 等高・ <u>等深線図</u> データファイルは、横断測量等の結果に基づいて作成する。	4 等高・等深線地図データファイルは、横断測量等の結果に基づいて作成する。
127	上から11行目	$B : 0.52 \leq \frac{S_1^2}{S_2^2} \leq 1.91$	$B : 0.49 \leq \frac{S_1^2}{S_2^2} \leq 2.02$

195

様式第3-12

地区名		作業機関		撮影士		操縦士		整備士						
撮影年月日	平成 年 月 日	基地	機体	JA	カメラ	離陸	着陸	時	分					
撮影高度	ft	基地標高	m	基準面標高	A m B m	レンズ	F mm	飛行時間	時 分					
縮尺	1	計器高度	m	フィルム		計器速度	km/H ML/H							
気象	天気	気流	風向	°	煙霧	気温	ft	°C	地上(離)	°C	気圧	離陸	着陸	hPa
コースNo.	開始時刻	終了時刻	フィルムNo.	露出	絞り	修正角	フィルムNo.	枚数	進行方向	概要	GPS/IMU	GPS/IMU初期化方法		
(撮影区域全体を表示する)														
ロールNo.	-	コース	マガジンNo.	-	コース	マガジンNo.	-	合計	枚					

注1. 撮影されたコースは、中間検査後撮影略図のコースを赤線で表示する。
 2. 採用時にA, Bコースと分割して採用されたときは、コースNo.欄に「○A, ○B」と記載し、撮影略図にABコースの範囲を明確に表示する。
 3. 基準面を異にして撮影する場合は、A, Bに区別する。
 用紙の大きさはA4判とする。

地区名		作業機関		撮影士		操縦士		整備士						
撮影年月日	平成 年 月 日	基地	機体	JA	カメラ	離陸	着陸	時	分					
撮影高度	ft	基地標高	m	基準面標高	A m B m	レンズ	F mm	飛行時間	時 分					
縮尺	1	計器高度	m	フィルム		計器速度	km/H ML/H							
気象	天気	気流	風向	°	煙霧	気温	ft	°C	地上(離)	°C	気圧	離陸	着陸	hPa
コースNo.	開始時刻	終了時刻	フィルムNo.	露出	絞り	修正角	フィルムNo.	枚数	進行方向	概要	GPS/IMU	GPS/IMU初期化方法		
(撮影区域全体を表示する)														
ロールNo.	-	コース	マガジンNo.	-	コース	マガジンNo.	-	合計	枚					

注1. 撮影されたコースは、中間検査後撮影略図のコースを赤線で表示する。
 2. 採用時にA, Bコースと分割して採用されたときは、コースNo.欄に「○A, ○B」と記載し、撮影略図にABコースの範囲を明確に表示する。
 3. 基準面を異にして撮影する場合は、A, Bに区別する。
 用紙の大きさはA4判とする。

196

様式第3-13

デジタル航空カメラ撮影記録簿

地区名		作業機関		撮影士		操縦士		整備士						
撮影年月日	平成 年 月 日	基地	機体	JA	カメラ	離陸	着陸	時	分					
撮影高度	ft	基地標高	m	基準面標高	A m B m	記録処理ユニット	飛行時間	時 分						
地上画素寸法	cm	計器高度	m	センサーユニット		計器速度	kt/H							
気象	天気	気流	風向	°	煙霧	気温	ft	°C	地上(離)	°C	気圧	離陸	着陸	hPa
コースNo.	開始時刻	終了時刻	フィルムNo.	露出	絞り	修正角	数値写真No.	枚数	進行方向	概要	GPS/IMU	GPS/IMU初期化方法		
(撮影区域全体を表示する)														
ロールNo.	-	コース	マガジンNo.	-	コース	マガジンNo.	-	合計	枚					

注1. 撮影されたコースは、中間検査後撮影略図のコースを赤線で表示する。
 2. 採用時にA, Bコースと分割して採用されたときは、コースNo.欄に「○A, ○B」と記載し、撮影略図にABコースの範囲を明確に表示する。
 3. 基準面を異にして撮影する場合は、A, Bに区別する。
 用紙の大きさはA4判とする。

デジタル航空カメラ撮記録簿

地区名		作業機関		撮影士		操縦士		整備士						
撮影年月日	平成 年 月 日	基地	機体	JA	カメラ	離陸	着陸	時	分					
撮影高度	ft	基地標高	m	基準面標高	A m B m	レンズ	F mm	飛行時間	時 分					
地上画素寸法	cm	計器高度	m	フィルム		計器速度	km/H ML/H							
気象	天気	気流	風向	°	煙霧	気温	ft	°C	地上(離)	°C	気圧	離陸	着陸	hPa
コースNo.	開始時刻	終了時刻	フィルムNo.	露出	絞り	修正角	フィルムNo.	枚数	進行方向	概要	GPS/IMU	GPS/IMU初期化方法		
(撮影区域全体を表示する)														
ロールNo.	-	コース	マガジンNo.	-	コース	マガジンNo.	-	合計	枚					

注1. 撮影されたコースは、中間検査後撮影略図のコースを赤線で表示する。
 2. 採用時にA, Bコースと分割して採用されたときは、コースNo.欄に「○A, ○B」と記載し、撮影略図にABコースの範囲を明確に表示する。
 3. 基準面を異にして撮影する場合は、A, Bに区別する。
 用紙の大きさはA4判とする。

一公共測量一 作業規程の準則 (第1刷)

正 誤 表

平成21年3月30日 現在

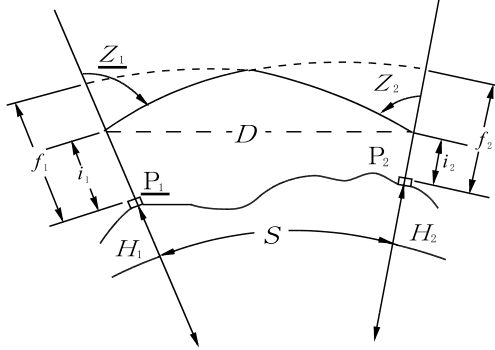
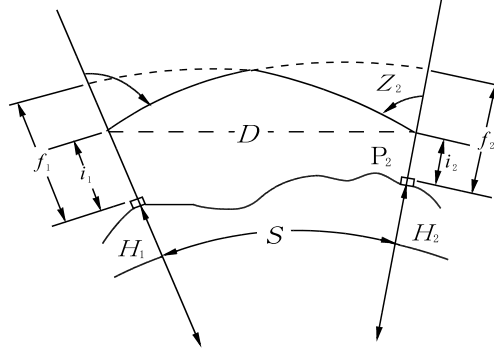
ページ	行	正	誤																																																																													
3	下から4行目	第2条第3項に基づく <u>基盤地図情報</u> に係る項目・・・	第2条第3項に基づく地理空間情報活用推進基本法第2条第3項の基盤地図情報に係る項目・・・																																																																													
4	上から24行目	<u>点検測量率</u> は、次表を標準とする。	二 点検測量率は、次表を標準とする。																																																																													
4	下から4行目	・・・国内規格の <u>方式</u> に・・・	・・・国内規格の方式等に・・・																																																																													
13	下から6、7行目の表中	<table border="1"> <tr> <td>読 定 単 位</td> <td>1"</td> <td>1"</td> <td>10"</td> <td>10"</td> <td>20"</td> </tr> <tr> <td>対 回 数</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </table>	読 定 単 位	1"	1"	10"	10"	20"	対 回 数	2	2	3	2	2	<table border="1"> <tr> <td>読 定 単 位</td> <td>1"</td> <td>1"</td> <td>1"</td> <td>10"</td> <td>20"</td> </tr> <tr> <td>対 回 数</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </table>	読 定 単 位	1"	1"	1"	10"	20"	対 回 数	2	2	2	2	2																																																					
読 定 単 位	1"	1"	10"	10"	20"																																																																											
対 回 数	2	2	3	2	2																																																																											
読 定 単 位	1"	1"	1"	10"	20"																																																																											
対 回 数	2	2	2	2	2																																																																											
16	下から3行目	G P S 観測による方位点の設置距離は200メートル以上とし、	G P S 観測による方位点の設置距離は200メートルとし、																																																																													
19	上から7行目の表一部追加	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">項 目</th> <th colspan="4">区 分</th> </tr> <tr> <th>1級基準点測量</th> <th>2級基準点測量</th> <th>3級基準点測量</th> <th>4級基準点測量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">結・単 合・路 多・角 角・線</td> <td>水平位置の閉合差</td> <td>$10\text{cm} + 2\text{cm}\sqrt{N}\Sigma S$</td> <td>$10\text{cm} + 3\text{cm}\sqrt{N}\Sigma S$</td> <td>$15\text{cm} + 5\text{cm}\sqrt{N}\Sigma S$</td> <td>$15\text{cm} + 10\text{cm}\sqrt{N}\Sigma S$</td> </tr> <tr> <td>標高の閉合差</td> <td>$20\text{cm} + 5\text{cm}\Sigma S/\sqrt{N}$</td> <td>$20\text{cm} + 10\text{cm}\Sigma S/\sqrt{N}$</td> <td>$20\text{cm} + 15\text{cm}\Sigma S/\sqrt{N}$</td> <td>$20\text{cm} + 30\text{cm}\Sigma S/\sqrt{N}$</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">単 多 角 位 形</td> <td>水平位置の閉合差</td> <td>$1\text{cm}\sqrt{N}\Sigma S$</td> <td>$1.5\text{cm}\sqrt{N}\Sigma S$</td> <td>$2.5\text{cm}\sqrt{N}\Sigma S$</td> <td>$5\text{cm}\sqrt{N}\Sigma S$</td> </tr> <tr> <td>標高の閉合差</td> <td>$5\text{cm}\Sigma S/\sqrt{N}$</td> <td>$10\text{cm}\Sigma S/\sqrt{N}$</td> <td>$15\text{cm}\Sigma S/\sqrt{N}$</td> <td>$30\text{cm}\Sigma S/\sqrt{N}$</td> </tr> <tr> <td colspan="2">標高差の正反較差</td> <td>30cm</td> <td>20cm</td> <td>15cm</td> <td>10cm</td> </tr> <tr> <td colspan="2">備 考</td> <td colspan="4">Nは辺数、ΣSは路線長(km)とする。</td> </tr> </tbody> </table>	項 目		区 分				1級基準点測量	2級基準点測量	3級基準点測量	4級基準点測量	結・単 合・路 多・角 角・線	水平位置の閉合差	$10\text{cm} + 2\text{cm}\sqrt{N}\Sigma S$	$10\text{cm} + 3\text{cm}\sqrt{N}\Sigma S$	$15\text{cm} + 5\text{cm}\sqrt{N}\Sigma S$	$15\text{cm} + 10\text{cm}\sqrt{N}\Sigma S$	標高の閉合差	$20\text{cm} + 5\text{cm}\Sigma S/\sqrt{N}$	$20\text{cm} + 10\text{cm}\Sigma S/\sqrt{N}$	$20\text{cm} + 15\text{cm}\Sigma S/\sqrt{N}$	$20\text{cm} + 30\text{cm}\Sigma S/\sqrt{N}$	単 多 角 位 形	水平位置の閉合差	$1\text{cm}\sqrt{N}\Sigma S$	$1.5\text{cm}\sqrt{N}\Sigma S$	$2.5\text{cm}\sqrt{N}\Sigma S$	$5\text{cm}\sqrt{N}\Sigma S$	標高の閉合差	$5\text{cm}\Sigma S/\sqrt{N}$	$10\text{cm}\Sigma S/\sqrt{N}$	$15\text{cm}\Sigma S/\sqrt{N}$	$30\text{cm}\Sigma S/\sqrt{N}$	標高差の正反較差		30cm	20cm	15cm	10cm	備 考		Nは辺数、ΣSは路線長(km)とする。				<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">項 目</th> <th colspan="4">区 分</th> </tr> <tr> <th>1級基準点測量</th> <th>2級基準点測量</th> <th>3級基準点測量</th> <th>4級基準点測量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">結・単 合・路 多・角 角・線</td> <td>水平位置の閉合差</td> <td>$10\text{cm} + 2\text{cm}\sqrt{N}\Sigma S$</td> <td>$10\text{cm} + 3\text{cm}\sqrt{N}\Sigma S$</td> <td>$15\text{cm} + 5\text{cm}\sqrt{N}\Sigma S$</td> <td>$15\text{cm} + 10\text{cm}\sqrt{N}\Sigma S$</td> </tr> <tr> <td>標高の閉合差</td> <td>$20\text{cm} + 5\text{cm}\Sigma S/\sqrt{N}$</td> <td>$20\text{cm} + 10\text{cm}\Sigma S/\sqrt{N}$</td> <td>$20\text{cm} + 15\text{cm}\Sigma S/\sqrt{N}$</td> <td>$20\text{cm} + 30\text{cm}\Sigma S/\sqrt{N}$</td> </tr> <tr> <td colspan="2">標高差の正反較差</td> <td>30cm</td> <td>20cm</td> <td>15cm</td> <td>10cm</td> </tr> <tr> <td colspan="2">備 考</td> <td colspan="4">Nは辺数、ΣSは路線長(km)とする。</td> </tr> </tbody> </table>	項 目		区 分				1級基準点測量	2級基準点測量	3級基準点測量	4級基準点測量	結・単 合・路 多・角 角・線	水平位置の閉合差	$10\text{cm} + 2\text{cm}\sqrt{N}\Sigma S$	$10\text{cm} + 3\text{cm}\sqrt{N}\Sigma S$	$15\text{cm} + 5\text{cm}\sqrt{N}\Sigma S$	$15\text{cm} + 10\text{cm}\sqrt{N}\Sigma S$	標高の閉合差	$20\text{cm} + 5\text{cm}\Sigma S/\sqrt{N}$	$20\text{cm} + 10\text{cm}\Sigma S/\sqrt{N}$	$20\text{cm} + 15\text{cm}\Sigma S/\sqrt{N}$	$20\text{cm} + 30\text{cm}\Sigma S/\sqrt{N}$	標高差の正反較差		30cm	20cm	15cm	10cm	備 考		Nは辺数、ΣSは路線長(km)とする。			
項 目		区 分																																																																														
		1級基準点測量	2級基準点測量	3級基準点測量	4級基準点測量																																																																											
結・単 合・路 多・角 角・線	水平位置の閉合差	$10\text{cm} + 2\text{cm}\sqrt{N}\Sigma S$	$10\text{cm} + 3\text{cm}\sqrt{N}\Sigma S$	$15\text{cm} + 5\text{cm}\sqrt{N}\Sigma S$	$15\text{cm} + 10\text{cm}\sqrt{N}\Sigma S$																																																																											
	標高の閉合差	$20\text{cm} + 5\text{cm}\Sigma S/\sqrt{N}$	$20\text{cm} + 10\text{cm}\Sigma S/\sqrt{N}$	$20\text{cm} + 15\text{cm}\Sigma S/\sqrt{N}$	$20\text{cm} + 30\text{cm}\Sigma S/\sqrt{N}$																																																																											
単 多 角 位 形	水平位置の閉合差	$1\text{cm}\sqrt{N}\Sigma S$	$1.5\text{cm}\sqrt{N}\Sigma S$	$2.5\text{cm}\sqrt{N}\Sigma S$	$5\text{cm}\sqrt{N}\Sigma S$																																																																											
	標高の閉合差	$5\text{cm}\Sigma S/\sqrt{N}$	$10\text{cm}\Sigma S/\sqrt{N}$	$15\text{cm}\Sigma S/\sqrt{N}$	$30\text{cm}\Sigma S/\sqrt{N}$																																																																											
標高差の正反較差		30cm	20cm	15cm	10cm																																																																											
備 考		Nは辺数、ΣSは路線長(km)とする。																																																																														
項 目		区 分																																																																														
		1級基準点測量	2級基準点測量	3級基準点測量	4級基準点測量																																																																											
結・単 合・路 多・角 角・線	水平位置の閉合差	$10\text{cm} + 2\text{cm}\sqrt{N}\Sigma S$	$10\text{cm} + 3\text{cm}\sqrt{N}\Sigma S$	$15\text{cm} + 5\text{cm}\sqrt{N}\Sigma S$	$15\text{cm} + 10\text{cm}\sqrt{N}\Sigma S$																																																																											
	標高の閉合差	$20\text{cm} + 5\text{cm}\Sigma S/\sqrt{N}$	$20\text{cm} + 10\text{cm}\Sigma S/\sqrt{N}$	$20\text{cm} + 15\text{cm}\Sigma S/\sqrt{N}$	$20\text{cm} + 30\text{cm}\Sigma S/\sqrt{N}$																																																																											
標高差の正反較差		30cm	20cm	15cm	10cm																																																																											
備 考		Nは辺数、ΣSは路線長(km)とする。																																																																														
19	上から21行目の表中	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th>許容範囲</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">基線ベクトルの環閉合差</td> <td>水平 ($\Delta N, \Delta E$)</td> <td>$20\text{mm}\sqrt{N}$</td> <td rowspan="2">N : 辺数 ΔN : 水平面の南北方向の閉合差 ΔE : 水平面の東西方向の閉合差</td> </tr> <tr> <td>高さ (ΔU)</td> <td>$30\text{mm}\sqrt{N}$</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">重複する基線ベクトルの較差</td> <td>水平 ($\Delta N, \Delta E$)</td> <td>20mm</td> <td rowspan="2">ΔU : 高さ方向の閉合差</td> </tr> <tr> <td>高さ (ΔU)</td> <td>30mm</td> </tr> </tbody> </table>	区 分		許容範囲	摘 要	基線ベクトルの環閉合差	水平 ($\Delta N, \Delta E$)	$20\text{mm}\sqrt{N}$	N : 辺数 ΔN : 水平面の南北方向の閉合差 ΔE : 水平面の東西方向の閉合差	高さ (ΔU)	$30\text{mm}\sqrt{N}$	重複する基線ベクトルの較差	水平 ($\Delta N, \Delta E$)	20mm	ΔU : 高さ方向の閉合差	高さ (ΔU)	30mm	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th>許容範囲</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">基線ベクトルの環閉合差</td> <td>水平 ($\Delta N, \Delta E$)</td> <td>$20\text{mm}\sqrt{N}$</td> <td rowspan="2">N : 辺数 ΔN : 水平面の南北方向の閉合差 ΔE : 水平面の東西方向の閉合差</td> </tr> <tr> <td>高さ (ΔU)</td> <td>$30\text{mm}\sqrt{N}$</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">重複する基線ベクトルの較差</td> <td>水平 ($\Delta N, \Delta E$)</td> <td>20mm</td> <td rowspan="2">ΔU : 高さ方向の閉合差</td> </tr> <tr> <td>高さ (ΔU)</td> <td>30mm</td> </tr> </tbody> </table>	区 分		許容範囲	摘 要	基線ベクトルの環閉合差	水平 ($\Delta N, \Delta E$)	$20\text{mm}\sqrt{N}$	N : 辺数 ΔN : 水平面の南北方向の閉合差 ΔE : 水平面の東西方向の閉合差	高さ (ΔU)	$30\text{mm}\sqrt{N}$	重複する基線ベクトルの較差	水平 ($\Delta N, \Delta E$)	20mm	ΔU : 高さ方向の閉合差	高さ (ΔU)	30mm																																													
区 分		許容範囲	摘 要																																																																													
基線ベクトルの環閉合差	水平 ($\Delta N, \Delta E$)	$20\text{mm}\sqrt{N}$	N : 辺数 ΔN : 水平面の南北方向の閉合差 ΔE : 水平面の東西方向の閉合差																																																																													
	高さ (ΔU)	$30\text{mm}\sqrt{N}$																																																																														
重複する基線ベクトルの較差	水平 ($\Delta N, \Delta E$)	20mm	ΔU : 高さ方向の閉合差																																																																													
	高さ (ΔU)	30mm																																																																														
区 分		許容範囲	摘 要																																																																													
基線ベクトルの環閉合差	水平 ($\Delta N, \Delta E$)	$20\text{mm}\sqrt{N}$	N : 辺数 ΔN : 水平面の南北方向の閉合差 ΔE : 水平面の東西方向の閉合差																																																																													
	高さ (ΔU)	$30\text{mm}\sqrt{N}$																																																																														
重複する基線ベクトルの較差	水平 ($\Delta N, \Delta E$)	20mm	ΔU : 高さ方向の閉合差																																																																													
	高さ (ΔU)	30mm																																																																														
27	上から21行目備考中	4. 表中の () 内は <u>2</u> ~ 4 級水準測量に適用する。	4. 表中の () 内は 1 ~ 4 級水準測量に適用する。																																																																													
30	下から12行目の表中	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th>許容範囲</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">基線ベクトルの較差</td> <td>水平 ($\Delta N, \Delta E$)</td> <td>20mm</td> <td rowspan="2">ΔN : 水平面の南北方向の閉合差 ΔE : 水平面の東西方向の閉合差 ΔU : 高さ方向の閉合差</td> </tr> <tr> <td>高さ (ΔU)</td> <td>30mm</td> </tr> </tbody> </table>	区 分		許容範囲	摘 要	基線ベクトルの較差	水平 ($\Delta N, \Delta E$)	20mm	ΔN : 水平面の南北方向の閉合差 ΔE : 水平面の東西方向の閉合差 ΔU : 高さ方向の閉合差	高さ (ΔU)	30mm	<table border="1"> <tbody> <tr> <td rowspan="2">基線ベクトルの較差</td> <td>水平 ($\Delta N, \Delta E$)</td> <td>20mm</td> <td rowspan="2">ΔN : 水平面の南北方向の閉合差 ΔE : 水平面の東西方向の閉合差 ΔU : 高さ方向の閉合差</td> </tr> <tr> <td>高さ (ΔU)</td> <td>30mm</td> </tr> </tbody> </table>	基線ベクトルの較差	水平 ($\Delta N, \Delta E$)	20mm	ΔN : 水平面の南北方向の閉合差 ΔE : 水平面の東西方向の閉合差 ΔU : 高さ方向の閉合差	高さ (ΔU)	30mm																																																													
区 分		許容範囲	摘 要																																																																													
基線ベクトルの較差	水平 ($\Delta N, \Delta E$)	20mm	ΔN : 水平面の南北方向の閉合差 ΔE : 水平面の東西方向の閉合差 ΔU : 高さ方向の閉合差																																																																													
	高さ (ΔU)	30mm																																																																														
基線ベクトルの較差	水平 ($\Delta N, \Delta E$)	20mm	ΔN : 水平面の南北方向の閉合差 ΔE : 水平面の東西方向の閉合差 ΔU : 高さ方向の閉合差																																																																													
	高さ (ΔU)	30mm																																																																														

ページ	行	正	誤																																																																												
31	上から2行目の表中	<p>ロ 往復観測値の較差の許容範囲は、次表を標準とする。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>区分</td> <td>1級水準点</td> <td>2級水準点</td> <td>3, 4級水準点</td> </tr> <tr> <td>項目</td> <td>往復観測値の較差</td> <td>5mm/√S</td> <td>5mm/√S</td> <td>20mm/√S</td> </tr> <tr> <td>読定単位</td> <td></td> <td>1mm</td> <td>1mm</td> <td>1mm</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td colspan="4">Sは観測距離(片道、km単位)とする。</td> </tr> </table> <p>ニ 固定点を經由して求めた各標高の較差の許容範囲は、次表を標準とする。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>区分</td> <td>1級水準点</td> <td>2級水準点</td> <td>3, 4級水準点</td> </tr> <tr> <td>項目</td> <td>標高の較差</td> <td>3mm</td> <td>3mm</td> <td>10mm</td> </tr> <tr> <td>読定単位</td> <td></td> <td>1mm</td> <td>1mm</td> <td>1mm</td> </tr> </table>		区分	1級水準点	2級水準点	3, 4級水準点	項目	往復観測値の較差	5mm/√S	5mm/√S	20mm/√S	読定単位		1mm	1mm	1mm	備考	Sは観測距離(片道、km単位)とする。					区分	1級水準点	2級水準点	3, 4級水準点	項目	標高の較差	3mm	3mm	10mm	読定単位		1mm	1mm	1mm	<p>ロ 往復観測値の較差の許容範囲は、次表を標準とする。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>区分</td> <td>1級水準点</td> <td>2級水準点</td> <td>3, 4級水準点</td> </tr> <tr> <td>項目</td> <td>往復観測値の較差</td> <td>5mm/√S</td> <td>5mm/√S</td> <td>20mm/√S</td> </tr> <tr> <td>読定単位</td> <td></td> <td>0.1mm</td> <td>1mm</td> <td>1mm</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td colspan="4">Sは観測距離(片道、km単位)とする。</td> </tr> </table> <p>ニ 固定点を經由して求めた各標高の較差の許容範囲は、次表を標準とする。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>区分</td> <td>1級水準点</td> <td>2級水準点</td> <td>3, 4級水準点</td> </tr> <tr> <td>項目</td> <td>往復観測値の較差</td> <td>3mm</td> <td>3mm</td> <td>10mm</td> </tr> <tr> <td>読定単位</td> <td></td> <td>0.1mm</td> <td>1mm</td> <td>1mm</td> </tr> </table>		区分	1級水準点	2級水準点	3, 4級水準点	項目	往復観測値の較差	5mm/√S	5mm/√S	20mm/√S	読定単位		0.1mm	1mm	1mm	備考	Sは観測距離(片道、km単位)とする。					区分	1級水準点	2級水準点	3, 4級水準点	項目	往復観測値の較差	3mm	3mm	10mm	読定単位		0.1mm	1mm	1mm						
	区分	1級水準点	2級水準点	3, 4級水準点																																																																											
項目	往復観測値の較差	5mm/√S	5mm/√S	20mm/√S																																																																											
読定単位		1mm	1mm	1mm																																																																											
備考	Sは観測距離(片道、km単位)とする。																																																																														
	区分	1級水準点	2級水準点	3, 4級水準点																																																																											
項目	標高の較差	3mm	3mm	10mm																																																																											
読定単位		1mm	1mm	1mm																																																																											
	区分	1級水準点	2級水準点	3, 4級水準点																																																																											
項目	往復観測値の較差	5mm/√S	5mm/√S	20mm/√S																																																																											
読定単位		0.1mm	1mm	1mm																																																																											
備考	Sは観測距離(片道、km単位)とする。																																																																														
	区分	1級水準点	2級水準点	3, 4級水準点																																																																											
項目	往復観測値の較差	3mm	3mm	10mm																																																																											
読定単位		0.1mm	1mm	1mm																																																																											
40	上から7行目の表	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>許容範囲</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">セット間較差</td> <td>ΔN、ΔE</td> <td>20mm</td> <td rowspan="2"><u>X、Y座標、H(標高)と比較も可</u></td> </tr> <tr> <td>ΔU</td> <td>30mm</td> </tr> </tbody> </table>	項目	許容範囲	摘要	セット間較差	ΔN 、 ΔE	20mm	<u>X、Y座標、H(標高)と比較も可</u>	ΔU	30mm	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>許容範囲</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">セット間較差</td> <td>ΔN、ΔE</td> <td>20mm</td> <td rowspan="2">X、Y座標、H(標高)の比較でも可</td> </tr> <tr> <td>ΔU</td> <td>30mm</td> </tr> </tbody> </table>	項目	許容範囲	摘要	セット間較差	ΔN 、 ΔE	20mm	X、Y座標、H(標高)の比較でも可	ΔU	30mm																																																										
項目	許容範囲	摘要																																																																													
セット間較差	ΔN 、 ΔE	20mm	<u>X、Y座標、H(標高)と比較も可</u>																																																																												
	ΔU	30mm																																																																													
項目	許容範囲	摘要																																																																													
セット間較差	ΔN 、 ΔE	20mm	X、Y座標、H(標高)の比較でも可																																																																												
	ΔU	30mm																																																																													
41	上から15行目	・・・地物等の <u>相対</u> 的位置関係・・・	・・・地物等の <u>想定</u> 的位置関係・・・																																																																												
45	下から22行目	ホ 設置完了後、・・・	ト 設置完了後、・・・																																																																												
46	下から2行目	二 ラジオメトリック解像度は、赤、緑、 <u>青</u> 等の・・・	二 ラジオメトリック解像度は、赤、緑、赤等の・・・																																																																												
65	下から11行目	3 <u>原図</u> は、・・・	3 複製用原図は、・・・																																																																												
66	下から9行目	・・・ <u>平面直角座標系</u> における・・・	・・・ <u>平面直角座標値系</u> における・・・																																																																												
69	上から4行目	(以下「 <u>旧数値地形図データ</u> 」という。)	(以下数値地形図データを「 <u>旧数値地形図データ</u> 」という。)																																																																												
75	上から15行目の表	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">地図情報 レベル</th> <th rowspan="2">水平位置 (標準偏差)</th> <th rowspan="2">地上画素 寸法</th> <th rowspan="2">撮影縮尺</th> <th colspan="2">数値地形モデル</th> </tr> <tr> <th>グリッド間隔</th> <th>標高点(標準偏差)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>500</td> <td>0.5m以内</td> <td>0.1m以内</td> <td>1/3,000～1/4,000</td> <td>5m以内</td> <td>0.5m以内</td> </tr> <tr> <td>1000</td> <td>1.0m以内</td> <td>0.2m以内</td> <td>1/6,000～1/8,000</td> <td>10m以内</td> <td>0.5m以内</td> </tr> <tr> <td>2500</td> <td>2.5m以内</td> <td>0.4m以内</td> <td>1/10,000～1/12,500</td> <td>25m以内</td> <td>1.0m以内</td> </tr> <tr> <td>5000</td> <td>5.0m以内</td> <td>0.8m以内</td> <td>1/20,000～1/25,000</td> <td>50m以内</td> <td>2.5m以内</td> </tr> <tr> <td>10000</td> <td>10.0m以内</td> <td>1.0m以内</td> <td>1/30,000</td> <td>50m以内</td> <td>5.0m以内</td> </tr> </tbody> </table>	地図情報 レベル	水平位置 (標準偏差)	地上画素 寸法	撮影縮尺	数値地形モデル		グリッド間隔	標高点(標準偏差)	500	0.5m以内	0.1m以内	1/3,000～1/4,000	5m以内	0.5m以内	1000	1.0m以内	0.2m以内	1/6,000～1/8,000	10m以内	0.5m以内	2500	2.5m以内	0.4m以内	1/10,000～1/12,500	25m以内	1.0m以内	5000	5.0m以内	0.8m以内	1/20,000～1/25,000	50m以内	2.5m以内	10000	10.0m以内	1.0m以内	1/30,000	50m以内	5.0m以内	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">地図情報 レベル</th> <th rowspan="2">水平位置 (標準偏差)</th> <th rowspan="2">地上画素 寸法</th> <th rowspan="2">撮影縮尺</th> <th colspan="2">数値地形モデル</th> </tr> <tr> <th>グリッド間隔</th> <th>標高点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>500</td> <td>0.5m以内</td> <td>0.1m以内</td> <td>1/3,000～1/4,000</td> <td>5m以内</td> <td>0.5m以内</td> </tr> <tr> <td>1000</td> <td>1.0m以内</td> <td>0.2m以内</td> <td>1/6,000～1/8,000</td> <td>10m以内</td> <td>0.5m以内</td> </tr> <tr> <td>2500</td> <td>2.5m以内</td> <td>0.4m以内</td> <td>1/10,000～1/12,500</td> <td>25m以内</td> <td>1.0m以内</td> </tr> <tr> <td>5000</td> <td>5.0m以内</td> <td>0.8m以内</td> <td>1/20,000～1/25,000</td> <td>50m以内</td> <td>2.5m以内</td> </tr> <tr> <td>10000</td> <td>10.0m以内</td> <td>1.0m以内</td> <td>1/30,000</td> <td>50m以内</td> <td>5.0m以内</td> </tr> </tbody> </table>	地図情報 レベル	水平位置 (標準偏差)	地上画素 寸法	撮影縮尺	数値地形モデル		グリッド間隔	標高点	500	0.5m以内	0.1m以内	1/3,000～1/4,000	5m以内	0.5m以内	1000	1.0m以内	0.2m以内	1/6,000～1/8,000	10m以内	0.5m以内	2500	2.5m以内	0.4m以内	1/10,000～1/12,500	25m以内	1.0m以内	5000	5.0m以内	0.8m以内	1/20,000～1/25,000	50m以内	2.5m以内	10000	10.0m以内	1.0m以内	1/30,000	50m以内	5.0m以内
地図情報 レベル	水平位置 (標準偏差)	地上画素 寸法					撮影縮尺	数値地形モデル																																																																							
			グリッド間隔	標高点(標準偏差)																																																																											
500	0.5m以内	0.1m以内	1/3,000～1/4,000	5m以内	0.5m以内																																																																										
1000	1.0m以内	0.2m以内	1/6,000～1/8,000	10m以内	0.5m以内																																																																										
2500	2.5m以内	0.4m以内	1/10,000～1/12,500	25m以内	1.0m以内																																																																										
5000	5.0m以内	0.8m以内	1/20,000～1/25,000	50m以内	2.5m以内																																																																										
10000	10.0m以内	1.0m以内	1/30,000	50m以内	5.0m以内																																																																										
地図情報 レベル	水平位置 (標準偏差)	地上画素 寸法	撮影縮尺	数値地形モデル																																																																											
				グリッド間隔	標高点																																																																										
500	0.5m以内	0.1m以内	1/3,000～1/4,000	5m以内	0.5m以内																																																																										
1000	1.0m以内	0.2m以内	1/6,000～1/8,000	10m以内	0.5m以内																																																																										
2500	2.5m以内	0.4m以内	1/10,000～1/12,500	25m以内	1.0m以内																																																																										
5000	5.0m以内	0.8m以内	1/20,000～1/25,000	50m以内	2.5m以内																																																																										
10000	10.0m以内	1.0m以内	1/30,000	50m以内	5.0m以内																																																																										
75	下から5行目	前条 <u>第一号</u> から <u>第七号</u> の作業については、	前条第1号から第5号まで及び第7号の作業については、																																																																												
78	上から15行目	・・・ <u>電磁的</u> 記録媒体・・・	・・・ <u>電子</u> 記録媒体・・・																																																																												
81	上から10行目	ハ 眼等の人体 <u>へ</u> の悪影響を・・・	ハ 眼等の人体に悪影響を・・・																																																																												
86	上から12行目	・・・人工 <u>構造物</u> の <u>オリジナルデータ</u> の有無	・・・人工 <u>構造物</u> にオリジナルデータ																																																																												
91	上から21行目	基盤地図情報の作成(更新を含む。以下同じ。)方法は、新たな測量作業による方法及び既存の測量成果等の編集により作成する方法によるものとする。	基盤地図情報の作成(更新を含む。以下同じ。)方法は、新たな測量作業による方法及び既存の測量成果の編集により作成する方法によるものとする。																																																																												

ページ	行	正	誤																										
91	上から23行目	既存の測量成果等を編集する方法は、第3節の規定を適用する。	既存の測量成果を編集する方法は、第3節の規定を適用する。																										
97	上から24行目の 表中の摘要欄	セオドライト及び測距儀を含む	セオドライト及び光波測距儀を含む																										
100	下から6行目	二 RTK-GPS法又はネットワーク型RTK-GPS法による場合は、次表を標準とする。	二 RTK-GPS法又はネットワーク型RTK-GPS法による場合は、次表を標準とする。ただし、セット間較差は、基線ベクトル成分X、Yの比較によることができる。																										
100	最終行の表 一部追加	<table border="1"> <thead> <tr> <th>使用衛星数</th> <th>観測回数</th> <th>データ取得間隔</th> <th colspan="2">セット間較差の許容範囲</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">5衛星以上</td> <td rowspan="2">FIX解を得てから 10エポック(連続) 以上を2セット</td> <td rowspan="2">1秒</td> <td>ΔN</td> <td>20mm</td> <td rowspan="2">X、Y座標と 比較も可</td> </tr> <tr> <td>ΔE</td> <td>20mm</td> </tr> </tbody> </table>	使用衛星数	観測回数	データ取得間隔	セット間較差の許容範囲		摘 要	5衛星以上	FIX解を得てから 10エポック(連続) 以上を2セット	1秒	ΔN	20mm	X、Y座標と 比較も可	ΔE	20mm	<table border="1"> <thead> <tr> <th>使用衛星数</th> <th>観測回数</th> <th>データ取得間隔</th> <th colspan="2">セット間較差の許容範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">5衛星以上</td> <td rowspan="2">FIX解を得てから 10エポック(連続) 以上を2セット</td> <td rowspan="2">1秒</td> <td>ΔN</td> <td>20mm</td> </tr> <tr> <td>ΔE</td> <td>20mm</td> </tr> </tbody> </table>	使用衛星数	観測回数	データ取得間隔	セット間較差の許容範囲		5衛星以上	FIX解を得てから 10エポック(連続) 以上を2セット	1秒	ΔN	20mm	ΔE	20mm
使用衛星数	観測回数	データ取得間隔	セット間較差の許容範囲		摘 要																								
5衛星以上	FIX解を得てから 10エポック(連続) 以上を2セット	1秒	ΔN	20mm	X、Y座標と 比較も可																								
			ΔE	20mm																									
使用衛星数	観測回数	データ取得間隔	セット間較差の許容範囲																										
5衛星以上	FIX解を得てから 10エポック(連続) 以上を2セット	1秒	ΔN	20mm																									
			ΔE	20mm																									
103	上から20行目	・・・山地においては簡易水準測量により行うものとする。	山地においては簡易水準測量により行うものとする。なお、主要な構造物及び縦断変化点の位置は、中心点等からの距離を測定して定めるものとする。																										
104	上から16行目の 表中	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">項 目</th> <th>許容範囲</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">セット間較差</td> <td>ΔN、ΔE</td> <td>20mm</td> <td rowspan="2">既知点のX、Y座標、H(標高)と比較も可</td> </tr> <tr> <td>ΔU</td> <td>30mm</td> </tr> </tbody> </table>	項 目		許容範囲	摘 要	セット間較差	ΔN 、 ΔE	20mm	既知点のX、Y座標、H(標高)と比較も可	ΔU	30mm	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th colspan="2">許容範囲</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">セット間較差</td> <td>ΔN、ΔE</td> <td>20mm</td> <td rowspan="2">既知点のX、Y座標、H(標高)と比較も可</td> </tr> <tr> <td>ΔU</td> <td>30mm</td> </tr> </tbody> </table>	項 目	許容範囲		摘 要	セット間較差	ΔN 、 ΔE	20mm	既知点のX、Y座標、H(標高)と比較も可	ΔU	30mm						
項 目		許容範囲	摘 要																										
セット間較差	ΔN 、 ΔE	20mm	既知点のX、Y座標、H(標高)と比較も可																										
	ΔU	30mm																											
項 目	許容範囲		摘 要																										
セット間較差	ΔN 、 ΔE	20mm	既知点のX、Y座標、H(標高)と比較も可																										
	ΔU	30mm																											
104	下から13行目の 表中	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>平 地</th> <th>山 地</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>距 離</td> <td>$L/500$</td> <td>$L/300$</td> <td rowspan="2">Lは中心杭等と末端見通杭の測定距離 (m単位)</td> </tr> <tr> <td>標 高</td> <td>$2\text{cm} + 5\text{cm}\sqrt{L/100}$</td> <td>$5\text{cm} + 15\text{cm}\sqrt{L/100}$</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	平 地	山 地	摘 要	距 離	$L/500$	$L/300$	Lは中心杭等と末端見通杭の測定距離 (m単位)	標 高	$2\text{cm} + 5\text{cm}\sqrt{L/100}$	$5\text{cm} + 15\text{cm}\sqrt{L/100}$	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>平 地</th> <th>山 地</th> <th>適 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>距 離</td> <td>$L/500$</td> <td>$L/300$</td> <td rowspan="2">Lは中心杭等と末端見通杭の測定距離 (m単位)</td> </tr> <tr> <td>標 高</td> <td>$2\text{cm} + 5\text{cm}\sqrt{L/100}$</td> <td>$5\text{cm} + 15\text{cm}\sqrt{L/100}$</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	平 地	山 地	適 要	距 離	$L/500$	$L/300$	Lは中心杭等と末端見通杭の測定距離 (m単位)	標 高	$2\text{cm} + 5\text{cm}\sqrt{L/100}$	$5\text{cm} + 15\text{cm}\sqrt{L/100}$				
区 分	平 地	山 地	摘 要																										
距 離	$L/500$	$L/300$	Lは中心杭等と末端見通杭の測定距離 (m単位)																										
標 高	$2\text{cm} + 5\text{cm}\sqrt{L/100}$	$5\text{cm} + 15\text{cm}\sqrt{L/100}$																											
区 分	平 地	山 地	適 要																										
距 離	$L/500$	$L/300$	Lは中心杭等と末端見通杭の測定距離 (m単位)																										
標 高	$2\text{cm} + 5\text{cm}\sqrt{L/100}$	$5\text{cm} + 15\text{cm}\sqrt{L/100}$																											

ページ	行	正	誤																																																																																																																																																																																																																																														
106	表中	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果等の整理</th> <th colspan="9">該当する測量の種類</th> </tr> <tr> <th>線形決定</th> <th>条件点の観測</th> <th>I P 設置測量</th> <th>中心線測量</th> <th>仮BM設置測量</th> <th>縦断測量</th> <th>横断測量</th> <th>詳細測量</th> <th>用地幅杭設置測量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>観測手簿</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計算簿</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>成果表</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>線形図データファイル</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>線形地形図データファイル</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>縦横断面図データファイル</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>詳細平面図データファイル</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>引照点図</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>品質評価表</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>メタデータ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	成果等の整理	該当する測量の種類									線形決定	条件点の観測	I P 設置測量	中心線測量	仮BM設置測量	縦断測量	横断測量	詳細測量	用地幅杭設置測量	観測手簿		○			○	○	○	○		計算簿	○	○	○	○					○	成果表		○			○	○		○		線形図データファイル	○									線形地形図データファイル				○			—			縦横断面図データファイル						○	○	○		詳細平面図データファイル								○		引照点図				○						品質評価表					○	○		○	○	メタデータ					○	○		○	○	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果等の整理</th> <th colspan="9">該当する測量の種類</th> </tr> <tr> <th>線形決定</th> <th>条件点の観測</th> <th>I P 設置測量</th> <th>中心線測量</th> <th>仮BM設置測量</th> <th>縦断測量</th> <th>横断測量</th> <th>詳細測量</th> <th>用地幅杭設置測量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>観測手簿</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計算簿</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>成果表</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>線形図データファイル</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>線形地形図データファイル</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>縦横断面図データファイル</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>詳細平面図データファイル</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>引照点図</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>品質評価表</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>メタデータ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	成果等の整理	該当する測量の種類									線形決定	条件点の観測	I P 設置測量	中心線測量	仮BM設置測量	縦断測量	横断測量	詳細測量	用地幅杭設置測量	観測手簿		○			○	○	○	○		計算簿	○	○	○	○					○	成果表		○			○	○		○		線形図データファイル	○									線形地形図データファイル				○			○			縦横断面図データファイル						○		○		詳細平面図データファイル								○		引照点図				○						品質評価表					○	○		○	○	メタデータ					○	○		○	○
成果等の整理	該当する測量の種類																																																																																																																																																																																																																																																
	線形決定	条件点の観測	I P 設置測量	中心線測量	仮BM設置測量	縦断測量	横断測量	詳細測量	用地幅杭設置測量																																																																																																																																																																																																																																								
観測手簿		○			○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																									
計算簿	○	○	○	○					○																																																																																																																																																																																																																																								
成果表		○			○	○		○																																																																																																																																																																																																																																									
線形図データファイル	○																																																																																																																																																																																																																																																
線形地形図データファイル				○			—																																																																																																																																																																																																																																										
縦横断面図データファイル						○	○	○																																																																																																																																																																																																																																									
詳細平面図データファイル								○																																																																																																																																																																																																																																									
引照点図				○																																																																																																																																																																																																																																													
品質評価表					○	○		○	○																																																																																																																																																																																																																																								
メタデータ					○	○		○	○																																																																																																																																																																																																																																								
成果等の整理	該当する測量の種類																																																																																																																																																																																																																																																
	線形決定	条件点の観測	I P 設置測量	中心線測量	仮BM設置測量	縦断測量	横断測量	詳細測量	用地幅杭設置測量																																																																																																																																																																																																																																								
観測手簿		○			○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																									
計算簿	○	○	○	○					○																																																																																																																																																																																																																																								
成果表		○			○	○		○																																																																																																																																																																																																																																									
線形図データファイル	○																																																																																																																																																																																																																																																
線形地形図データファイル				○			○																																																																																																																																																																																																																																										
縦横断面図データファイル						○		○																																																																																																																																																																																																																																									
詳細平面図データファイル								○																																																																																																																																																																																																																																									
引照点図				○																																																																																																																																																																																																																																													
品質評価表					○	○		○	○																																																																																																																																																																																																																																								
メタデータ					○	○		○	○																																																																																																																																																																																																																																								
107	下から11行目	第362条第5項 <u>第二号及び第三号</u> の規定を準用する。	第362条第5項第2号及び第3号の規定を準用する。																																																																																																																																																																																																																																														
108	下から5行目	6・・・横の縮尺は100分の1から <u>1,000</u> 分の1まで、	6・・・横の縮尺は100分の1から10,000分の1まで、																																																																																																																																																																																																																																														
109	上から1行目	・・・水深、測深位置 <u>又は</u> 船位、水位 <u>又は</u> 潮位を・・・	・・・水深、測深位置、船位、水位及び潮位を・・・																																																																																																																																																																																																																																														
109	上から5行目	2 測深位置 <u>又は</u> 船位の測定は、・・・	2 測深位置、船位の測定は、・・・																																																																																																																																																																																																																																														
109	下から19行目	9 水位 <u>又は</u> 潮位の測定は、・・・	9 水位及び潮位の測定は、・・・																																																																																																																																																																																																																																														
113	上から4行目の表中	鉛直 <u>角</u> 観測	鉛直各観測																																																																																																																																																																																																																																														
113	上から7行目の表一部追加	<p>二 RTK-GPS法又はネットワーク型RTK-GPS法による場合は、次表を標準とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>使用衛星数</th> <th>観測回数</th> <th>データ取得間隔</th> <th colspan="2">セット間較差の許容範囲</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">5衛星以上</td> <td rowspan="2">FIX解を得てから10エポック(連続)以上を2セット</td> <td rowspan="2">1秒</td> <td>ΔN</td> <td>20mm</td> <td rowspan="2"><u>X、Y座標と比較も可</u></td> </tr> <tr> <td>ΔE</td> <td>20mm</td> </tr> </tbody> </table>	使用衛星数	観測回数	データ取得間隔	セット間較差の許容範囲		摘要	5衛星以上	FIX解を得てから10エポック(連続)以上を2セット	1秒	ΔN	20mm	<u>X、Y座標と比較も可</u>	ΔE	20mm	<p>二 RTK-GPS法又はネットワーク型RTK-GPS法による場合は、次表を標準とする。ただし、セット間較差は、基線ベクトル成分X、Yの比較によることができる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>使用衛星数</th> <th>観測回数</th> <th>データ取得間隔</th> <th colspan="2">セット間較差の許容範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">5衛星以上</td> <td rowspan="2">FIX解を得てから10エポック(連続)以上を2セット</td> <td rowspan="2">1秒</td> <td>ΔN</td> <td>20mm</td> </tr> <tr> <td>ΔE</td> <td>20mm</td> </tr> </tbody> </table>	使用衛星数	観測回数	データ取得間隔	セット間較差の許容範囲		5衛星以上	FIX解を得てから10エポック(連続)以上を2セット	1秒	ΔN	20mm	ΔE	20mm																																																																																																																																																																																																																				
使用衛星数	観測回数	データ取得間隔	セット間較差の許容範囲		摘要																																																																																																																																																																																																																																												
5衛星以上	FIX解を得てから10エポック(連続)以上を2セット	1秒	ΔN	20mm	<u>X、Y座標と比較も可</u>																																																																																																																																																																																																																																												
			ΔE	20mm																																																																																																																																																																																																																																													
使用衛星数	観測回数	データ取得間隔	セット間較差の許容範囲																																																																																																																																																																																																																																														
5衛星以上	FIX解を得てから10エポック(連続)以上を2セット	1秒	ΔN	20mm																																																																																																																																																																																																																																													
			ΔE	20mm																																																																																																																																																																																																																																													

ページ	行	正	誤
188	下から4行目	<p>⑨ジオイド高：<u>(基準点に適用)</u> 小数点型式、m単位としm以下3桁までとする。 <u>等 級：(水準点に適用) 2桁の整数とする</u> 11～13：1等～3等 21～24：1級～4級 25：簡易</p>	<p>⑨ジオイド高：小数点型式、m単位としm以下3桁までとする。</p>
234	上から9行目	P ：測点1と測点2の平均気圧 <u>(hPa)</u>	P ：測点1と測点2の平均気圧 (hPa)
234	上から22行目	P_1 ：計算の基準とした測点で観測した気圧 <u>(hPa)</u> P_2 ：求めようとする測点の気圧 <u>(hPa)</u> $T = 273.15 + t$ ：絶対温度 <u>(K)</u>	P_1 ：計算の基準とした測点で観測した気圧 (hPa) P_2 ：求めようとする測点の気圧 (hPa) $T = 273 + t$ ：絶対温度 (k)
234	下から9行目	ΔH ：計算の基準とした測点 (H_1) と求めようとする測点 (H_2) との高低差 $H_2 - H_1$ (m)	ΔH ：計算の基準とした測点 (H_1) と求めようとする測点 (H_1) との高低差 $H_2 - H_1$ (m)
236	上から11行目	$S = \sqrt{(S' - e_1 \cdot \cos \alpha_1 - e_2 \cdot \cos \alpha_2)^2 + \underline{(e_1 \cdot \sin \alpha_1 + e_2 \cdot \sin \alpha_2)^2}}$	$S = \sqrt{(S' - e_1 \cdot \cos \alpha_1 - e_2 \cdot \cos \alpha_2)^2 + (e_1 \cdot \sin \alpha_1 - e_2 \cdot \sin \alpha_2)^2}$
238	上から2行目	<p>2.3.4 座標の閉合差 $\Delta x = x_b - x_{n+1} = x_b - x_a - \sum dx$ $\Delta y = y_b - y_{n+1} = y_b - y_a - \sum dy$</p>	<p>2.3.4 座標の閉合差 $\Delta x_i = x_b - x_{n+1} = x_b - x_a - \sum dx$ $\Delta y_i = y_b - y_{n+1} = y_b - y_a - \sum dy$</p>
238	上から4行目の次に追加	<p>2.3.5 単位多角形の諸計算 単位多角形に関する諸計算は、2.3.1から2.3.4の計算式を準用する。 (1) 方向角の計算は、2.3.1による。 (2) 方向角の閉合差 内角を観測した場合 $\Delta \alpha = (n - 1)180^\circ - \sum \beta$ 外角を観測した場合 $\Delta \alpha = (n + 3)180^\circ - \sum \beta$ (3) 座標の計算は、2.3.3による。 (4) 座標の閉合差 $\Delta x = \sum dx, \Delta y = \sum dy$</p>	
238	上から5行目	2.3.6 方向角の計算 (取付観測がない場合)	2.3.5 方向角の計算 (取付観測がない場合)

ページ	行	正	誤
240	上から16行目	$l_{s_{ik}}$: 距離の観測方程式の定数項 $\underline{\rho}'' \cdot (s_{ik} - s'_{ik}) / s'_{ik}$ (秒単位)	$l_{s_{ik}}$: 距離の観測方程式の定数項 $\rho \cdot (s_{ik} - s'_{ik}) / s'_{ik}$ (秒単位)
240	上から19行目	z_{im} : 標定誤差、 P_i 点における m 組目の方向観測を方向角に換算するときの仮定方向角(t)に対する補正值(秒単位)	z_{im} : 標定誤差、 P_i 点における m 組目の方向観測を方向角に換算するときの仮定方向角(t')に対する補正值(秒単位)
240	上から25行目	\underline{p}_{ik} : 方向観測の重量, 常に1とする	P_{ik} : 方向観測の重量, 常に1とする
240	下から19行目	$p_{s_{ik}}$: 距離観測の重量 $p_{s_{ik}} = \frac{m^2 s_{ik}^2}{(m_s^2 + \gamma^2 s_{ik}^2) \rho''^2}$	$p_{s_{ik}}$: 距離観測の重量 $p_{s_{ik}} = \frac{m_s^2 s_{ik}^2}{(m_s^2 + \gamma^2 s_{ik}^2) \rho^2}$
240	下から11行目	$v(s_{ik})$: 距離観測の残差(秒単位) m単位の場合の残差 = $s'_{ik} \cdot v(s_{ik}) / \underline{\rho}''$	$v(s_{ik})$: 距離観測の残差(秒単位) m単位の場合の残差 = $s'_{ik} \cdot v(s_{ik}) / \rho$
241	上から3行目	$N = A^T P A, \underline{U} = A^T P L$	$N = A^T P A, N = A^T P L$
241	図2.8	 <p style="text-align: center;">図2.8</p>	 <p style="text-align: center;">図2.8</p>
241	下から14行目	<p>2.5.1 標高及び高低差の計算</p> <p>標高H_2 (H_1を既知とした場合)</p> $H_2 = (H'_2 + \underline{H}_2) / 2$ <p>H'_2, \underline{H}_2正反に分けて計算を行う</p> <p>正方向 $H'_2 = H_1 + D \cdot \sin \alpha_1 + i_1 - f_2 + K$</p> <p>反方向 $\underline{H}_2 = H_1 - D \cdot \sin \alpha_2 - i_2 + f_1 - K$</p>	<p>2.5.1 標高及び高低差の計算</p> <p>標高H_2 (H_1を既知とした場合)</p> $H_2 = (H'_2 + H_2) / 2$ <p>H'_2, H_2正反に分けて計算を行う</p> <p>正方向 $H'_2 = H_1 + D \cdot \sin \alpha_1 + i_1 - f_2 + K$</p> <p>反方向 $H_2 = H_1 - D \cdot \sin \alpha_2 - i_2 + f_1 - K$</p>
241	下から6行目	$\underline{\equiv} D \cdot \sin \left(\frac{\alpha_1 - \alpha_2}{2} \right) + \frac{1}{2} (i_1 + f_1) - \frac{1}{2} (i_2 + f_2)$	$\equiv D \cdot \sin \left(\frac{\alpha_1 - \alpha_2}{2} \right) + \frac{1}{2} (i_1 + f_1) - \frac{1}{2} (i_2 + f_2)$

ページ	行	正	誤
242	上から5行目	$K : \text{両差 (気差及び球差)} = \frac{(1-k)S^2}{2R}$	$K : \text{両差 (気差及び球差)} = \frac{(1-k)D^2}{2R}$
242	上から6行目	<p>2.5.2 標高の閉合差</p> <p>(1) 結合多角路線の閉合差 $dh = H_b - H_a - \sum h$ ただし、 dh : 閉合差, H_a : 出発点の標高, H_b : 結合点の標高</p> <p>(2) 単位多角形の閉合差 $dh = \sum h$</p>	<p>2.5.2 標高の閉合差</p> <p>結合多角路線の閉合差 $dh = H_b - H_a - \sum h$ ただし、 dh : 閉合差, H_a : 出発点の標高, H_b : 結合点の標高</p>
242	上から21行目	i_i : セオドライト高	i_i : セオドライト
243	上から11行目	$C_1 = \frac{\cos^2 \alpha'}{S} \left(1 - \frac{H'_1}{R} \right) \rho''$ $C_2 = \frac{\cos^2 \alpha'}{S} \left(1 - \frac{H'_2}{R} \right) \rho''$	$C_1 = \frac{\cos^2 \alpha'}{S} \left(1 - \frac{H'_1}{R} \right) \rho$ $C_2 = \frac{\cos^2 \alpha'}{S} \left(1 - \frac{H'_2}{R} \right) \rho$
243	下から7行目	$M_h = \frac{m_0}{\sqrt{P_h}}$	$M_h = \frac{\sqrt{m_0}}{P_h}$
244	図 2.11	<p>図 2.11</p>	<p>図 2.11</p>
244	上から6行目	$t_1 = t_a + \underline{\beta_0}$	$t_1 = t_a + \sum \beta_0$
245	上から12行目	$\Delta H = H - H'_i = \sum_{k=1}^{n+1} dH_k$: i 路線の交点の標高の閉合差	$\Delta H = H - H'_i = \sum_{k=0}^{n+1} dH_k$: i 路線の交点の標高の閉合差

ページ	行	正	誤
245	下から7行目	W_1, W_2, W_3 : 各路線の方向角、座標、標高の <u>閉合差</u>	W_1, W_2, W_3 : 各路線の方向角、座標、標高の補正量
247	上から3行目	$V = (CP^{-1})^T K$ $P^{-1} = \begin{pmatrix} 1/P_1 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 1/P_2 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 1/P_3 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 1/P_4 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 1/P_5 \end{pmatrix}, K = \begin{pmatrix} K_1 \\ K_2 \\ K_3 \end{pmatrix}$	$V = (CP^{-1})^T K$ $P^{-1} = \begin{pmatrix} 1/P_1 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 1/P_2 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 1/P_3 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 1/P_4 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 1/P_5 \end{pmatrix}, K = \begin{pmatrix} K_1 \\ K_2 \\ K_3 \end{pmatrix}$
247	下から16行目	$v_i = -\delta t_p + \delta t_q - \{(t'_p - t'_q) + dt_i\}$ 重量 P_i v_i : 残差	$v_i = -\delta t_p + \delta t_q - \{(t'_p - t'_q) + dt_i\}$ 重量 P_i v_i : 残差
247	下から10行目	$\underline{\beta}_{ok}$: 出発点における観測夾角	β_{ok} : 出発点における観測夾角
248	上から5行目	(2) 既知点 (x, y) から交点 (x'_q, y'_q) までの観測方程式は次式による。 $v_i = \underline{\delta x}_q - \{(x - x'_q) + dx_i\}$ 重量 P_i $v_i = \underline{\delta y}_q - \{(y - y'_q) + dy_i\}$ 重量 P_i	(2) 既知点 (x, y) から交点 (x'_q, y'_q) までの観測方程式は次式による。 $v_i = -\delta x_q - \{(x - x'_q) + dx_i\}$ 重量 P_i $v_i = -\delta y_q - \{(y - y'_q) + dy_i\}$ 重量 P_i
248	上から19行目	(2) 既知点 (H) から交点 (H_q) までの観測方程式は次式による。 $v_i = \underline{\delta H}_q - \{(H - H'_q) + dH_i\}$ 重量 P_i (3) <u>交点</u> (H_p) から <u>既知点</u> (H) までの観測方程式は次式による。	(2) 既知点 (H) から交点 (H_q) までの観測方程式は次式による。 $v_i = -\delta H_q - \{(H - H'_q) + dH_i\}$ 重量 P_i (3) 既知点 (H_p) から交点 (H) までの観測方程式は次式による。
248	下から15行目	$\delta \beta_k = \Delta \beta_i / \underline{\hspace{1cm}}$ (夾角の観測値の数) : 夾角 β_{ik} への補正值	$\delta \beta_k = \Delta \beta_i / \text{夾角の観測値の数}$: 夾角 β_{ik} への補正值
248	下から16行目	(1) 交点 P Q 間 (i 路線) の <u>各夾角</u> (β_{ik}) への補正 ($\delta \beta_k$)	(1) 交点 P Q 間 (i 路線) の角夾角 (β_{ik}) への補正 ($\delta \beta_k$)
249	上から3行目	2.8.1 平面直角座標上の方向角 $t_{12} = \tan^{-1} \frac{y_2 - y_1}{x_2 - x_1} - (t - T)_{12}$	2.8.1 平面直角座標上の方向角 $T_{12} = \tan^{-1} \frac{y_2 - y_1}{x_2 - x_1} - (t - T)_{12}$
249	上から10行目	$(t - T)_{12} = -\frac{\rho''}{4m_0^2 R_0^2} (y_2 + y_1) (x_2 - x_1) + \frac{\rho''}{12m_0^2 R_0^2} (x_2 - x_1) (y_2 - y_1)$	$(t - T)_{12} = \frac{\rho}{4m_0^2 R_0^2} (y_2 + y_1) (x_2 - x_1) + \frac{\rho}{12m_0^2 R_0^2} (x_2 - x_1) (y_2 - y_1)$

ページ	行	正	誤
249	下から7行目	<p>2.9.1 緯度</p> $\phi = \phi_1 - \left(\frac{\tan \phi_1}{2M_1 N_1} \right) \left(\frac{y}{m_0} \right)^2 \underline{\rho''}$ $+ \left(\frac{\tan \phi_1}{24M_1 N_1^3} \right) (5 + 3 \tan^2 \phi_1 + \eta_1^2 - 9 \eta_1^2 \tan^2 \phi_1 - 4 \eta_1^4) \left(\frac{y}{m_0} \right)^4 \underline{\rho''}$ $- \left(\frac{\tan \phi_1}{720M_1 N_1^5} \right) (61 + 90 \tan^2 \phi_1 + 45 \tan^4 \phi_1) \left(\frac{y}{m_0} \right)^6 \underline{\rho''}$ <p>2.9.2 経度</p> $\lambda = \lambda_0 + \Delta \lambda$ $\Delta \lambda = \left(\frac{1}{N_1 \cos \phi_1} \right) \left(\frac{y}{m_0} \right) \underline{\rho''} - \left(\frac{1 + 2 \tan^2 \phi_1 + \eta_1^2}{6N_1^3 \cos \phi_1} \right) \left(\frac{y}{m_0} \right)^3 \underline{\rho''}$ $+ \left(\frac{5 + 28 \tan^2 \phi_1 + 24 \tan^4 \phi_1}{120N_1^5 \cos \phi_1} \right) \left(\frac{y}{m_0} \right)^5 \underline{\rho''}$	<p>2.9.1 緯度</p> $\phi = \phi_1 - \left(\frac{\tan \phi_1}{2M_1 N_1} \right) \left(\frac{y}{m_0} \right)^2 \rho$ $+ \left(\frac{\tan \phi_1}{24M_1 N_1^3} \right) (5 + 3 \tan^2 \phi_1 + \eta_1^2 - 9 \eta_1^2 \tan^2 \phi_1 - 4 \eta_1^4) \left(\frac{y}{m_0} \right)^4 \rho$ $- \left(\frac{\tan \phi_1}{720M_1 N_1^5} \right) (61 + 90 \tan^2 \phi_1 + 45 \tan^4 \phi_1) \left(\frac{y}{m_0} \right)^6 \rho$ <p>2.9.2 経度</p> $\lambda = \lambda_0 + \Delta \lambda$ $\Delta \lambda = \left(\frac{1}{N_1 \cos \phi_1} \right) \left(\frac{y}{m_0} \right) \rho - \left(\frac{1 + 2 \tan^2 \phi_1 + \eta_1^2}{6N_1^3 \cos \phi_1} \right) \left(\frac{y}{m_0} \right)^3 \rho$ $+ \left(\frac{5 + 28 \tan^2 \phi_1 + 24 \tan^4 \phi_1}{120N_1^5 \cos \phi_1} \right) \left(\frac{y}{m_0} \right)^5 \rho$
250	上から5行目	<p>2.9.4 縮尺係数</p> $m = m_0 \left(\underline{1} + \frac{y^2}{2M_1 N_1 m_0^2} + \frac{y^4}{24M_1^2 N_1^2 m_0^4} \right)$	<p>2.9.4 縮尺係数</p> $m = m_0 \left(\frac{y^2}{2M_1 N_1 m_0^2} + \frac{y^4}{24M_1^2 N_1^2 m_0^4} \right)$
250	上から2行目	<p>2.9.3 子午線収差角</p> $\gamma = \left(\frac{\tan \phi_1}{N_1} \right) \left(\frac{y}{m_0} \right) \underline{\rho''} - \left(\frac{\tan \phi_1}{3N_1^3} \right) (1 + \tan^2 \phi_1 - \eta_1^2) \left(\frac{y}{m_0} \right)^3 \underline{\rho''}$ $+ \left(\frac{\tan \phi_1}{15N_1^5} \right) (1 + \tan^2 \phi_1) (2 + 3 \tan^2 \phi_1) \left(\frac{y}{m_0} \right)^5 \underline{\rho''}$	<p>2.9.3 子午線収差角</p> $\gamma = \left(\frac{\tan \phi_1}{N_1} \right) \left(\frac{y}{m_0} \right) \rho - \left(\frac{\tan \phi_1}{3N_1^3} \right) (1 + \tan^2 \phi_1 - \eta_1^2) \left(\frac{y}{m_0} \right)^3 \rho$ $+ \left(\frac{\tan \phi_1}{15N_1^5} \right) (1 + \tan^2 \phi_1) (2 + 3 \tan^2 \phi_1) \left(\frac{y}{m_0} \right)^5 \rho$
250	下から15行目	$\phi_1 = (A_1 \theta + A_2 \sin 2 \theta + A_3 \sin 4 \theta + \underline{A_4 \theta} \cos 2 \theta + A_5 \sin 6 \theta$ $+ A_6 \theta \cos 4 \theta + A_7 \theta^2 \sin 2 \theta + A_8 \sin 8 \theta + A_9 \theta \cos 6 \theta$ $+ A_{10} \theta^2 \sin 4 \theta + A_{11} \theta^3 \cos 2 \theta) \underline{\rho''}$	$\phi_1 = (A_1 \theta + A_2 \sin 2 \theta + A_3 \sin 4 \theta + A_4 \cos 2 \theta + A_5 \sin 6 \theta$ $+ A_6 \theta \cos 4 \theta + A_7 \theta^2 \sin 2 \theta + A_8 \sin 8 \theta + A_9 \theta \cos 6 \theta$ $+ A_{10} \theta^2 \sin 4 \theta + A_{11} \theta^3 \cos 2 \theta) \rho$

ページ	行	正	誤
251	上から3行目	<p>ただし、 $e =$ 第1離心率 $A = 1.005052501813087$ $D = 0.000000020820379$ $B = 0.005063108622224$ $E = 0.00000000039324$ $C = 0.000010627590263$ $F = 0.000000000000071$ (注) ϕ_1は、他の計算式を用いて求めることができる。</p> <p>2.10 経緯度を換算して座標及び子午線収差角を求める計算</p> <p>2.10.1 x座標</p> $\frac{x}{m_0} = (S - S_0) + \frac{N}{2} \sin \phi \cos \phi \left(\frac{\Delta \lambda}{\rho''} \right)^2$ $+ \frac{N}{24} \sin \phi \cos^3 \phi (5 - \tan^2 \phi + 9 \eta^2 + 4 \eta^4) \left(\frac{\Delta \lambda}{\rho''} \right)^4$ $+ \frac{N}{720} \sin \phi \cos^5 \phi (61 - 58 \tan^2 \phi + \tan^4 \phi) \left(\frac{\Delta \lambda}{\rho''} \right)^6$ <p>2.10.2 y座標</p> $\frac{y}{m_0} = N \cos \phi \left(\frac{\Delta \lambda}{\rho''} \right) + \frac{N}{6} \cos^3 \phi (1 - \tan^2 \phi + \eta^2) \left(\frac{\Delta \lambda}{\rho''} \right)^3$ $+ \frac{N}{120} \cos^5 \phi (5 - 18 \tan^2 \phi + \tan^2 \phi) \left(\frac{\Delta \lambda}{\rho''} \right)^5$ <p>2.10.3 子午線収差角</p> $\gamma = \sin \phi \Delta \lambda + \frac{1}{3} \sin \phi \cos^2 \phi (1 + 3 \eta^2 + 2 \eta^4) \frac{\Delta \lambda^3}{\rho''^2}$ $+ \frac{1}{15} \sin \phi \cos^4 \phi (2 - \tan^2 \phi) \frac{\Delta \lambda^5}{\rho''^4}$	<p>ただし、 $e =$ 第1離心率 $A = 1.005052501813087$ $D = 0.000000020820379$ $B = 0.005063108622224$ $E = 0.00000000039324$ $C = 0.000010627590263$ $F = 0.000000000000071$ (注) ϕ_1は、他の計算式を用いて求めることができる。</p> <p>2.10 経緯度を換算して座標及び子午線収差角を求める計算</p> <p>2.10.1 x座標</p> $\frac{x}{m_0} = (S - S_0) + \frac{N}{2} \sin \phi \cos \phi \left(\frac{\Delta \lambda}{\rho} \right)^2$ $+ \frac{N}{24} \sin \phi \cos^3 \phi (5 - \tan^2 \phi + 9 \eta^2 + 4 \eta^4) \left(\frac{\Delta \lambda}{\rho} \right)^4$ $+ \frac{N}{720} \sin \phi \cos^5 \phi (61 - 58 \tan^2 \phi + \tan^4 \phi) \left(\frac{\Delta \lambda}{\rho} \right)^6$ <p>2.10.2 y座標</p> $\frac{y}{m_0} = N \cos \phi \left(\frac{\Delta \lambda}{\rho} \right) + \frac{N}{6} \cos^3 \phi (1 - \tan^2 \phi + \eta^2) \left(\frac{\Delta \lambda}{\rho} \right)^3$ $+ \frac{N}{120} \cos^5 \phi (5 - 18 \tan^2 \phi + \tan^2 \phi) \left(\frac{\Delta \lambda}{\rho} \right)^5$ <p>2.10.3 子午線収差角</p> $\gamma = \sin \phi \Delta \lambda + \frac{1}{3} \sin \phi \cos^2 \phi (1 + 3 \eta^2 + 2 \eta^4) \frac{\Delta \lambda^3}{\rho^2}$ $+ \frac{1}{15} \sin \phi \cos^4 \phi (2 - \tan^2 \phi) \frac{\Delta \lambda^5}{\rho^4}$
251	下から6行目	<p>3.1.1 経緯度及び高さから地心直交座標系への変換</p> $X = (N + h) \cos \phi \cos \lambda$ $Y = (N + h) \cos \phi \sin \lambda$ $Z = \{N(1 - e^2) + h\} \sin \phi$ $h = H + N_g$	<p>3.1.1 経緯度及び高さから地心直交座標系への変換</p> $X = (N + h) \cos \phi \cos \lambda$ $X = (N + h) \cos \phi \sin \lambda$ $Z = \{N(1 - e^2) + h\} \sin \phi$ $h = H + N_g$
252	上から10行目	<p>ϕ_i : i回目の計算結果 $\phi_i = \tan^{-1} \frac{Z}{P}$</p>	<p>$\phi_i = i$回目の計算結果 $\phi_i = \tan^{-1} \frac{Z}{P}$</p>

ページ	行	正	誤
253	下から7行目	(注) γ の計算は最初、 $T_0' = T + 180^\circ$ の値で計算し、 $ T' - T_0' \leq 0.1''$ を満たすまで繰り返す。	(注) γ の計算は最初、 $T_0' = T + 180^\circ$ の値で計算し、 $ T' - T_0' \leq 0.1$ を満たすまで繰り返す。
256	上から6行目	(2) 測地座標 (緯度 ϕ 、経度 λ 、楕円体高 h) による観測方程式	(2) 測地座標 (緯度 ϕ 、経度 λ 、楕円体高 h) による観測方程式)
256	上から10行目	$\begin{pmatrix} V_x \\ V_y \\ V_z \end{pmatrix} = m_2 \begin{pmatrix} \delta \phi_2 \\ \delta \lambda_2 \\ \delta h_2 \end{pmatrix} - m_1 \begin{pmatrix} \delta \phi_1 \\ \delta \lambda_1 \\ \delta h_1 \end{pmatrix} + M_\xi \begin{pmatrix} \Delta X_0 \\ \Delta Y_0 \\ \Delta Z_0 \end{pmatrix} \xi + M_\eta \begin{pmatrix} \Delta X_0 \\ \Delta Y_0 \\ \Delta Z_0 \end{pmatrix} \eta + M_\alpha \begin{pmatrix} \Delta X_0 \\ \Delta Y_0 \\ \Delta Z_0 \end{pmatrix} \alpha + \begin{pmatrix} \Delta X_0 \\ \Delta Y_0 \\ \Delta Z_0 \end{pmatrix} - \begin{pmatrix} \Delta X_{0b} \\ \Delta Y_{0b} \\ \Delta Z_{0b} \end{pmatrix}$ <p>(補正量) (未知量) (未知量) (概算値) (観測値)</p>	$\begin{pmatrix} V_x \\ V_y \\ V_z \end{pmatrix} = m_2 \begin{pmatrix} \delta \phi_2 \\ \delta \lambda_2 \\ \delta h_2 \end{pmatrix} - m_1 \begin{pmatrix} \delta \phi_1 \\ \delta \lambda_1 \\ \delta h_1 \end{pmatrix} + M_\xi \begin{pmatrix} \Delta X_0 \\ \Delta Y_0 \\ \Delta Z_0 \end{pmatrix} \xi + M_\eta \begin{pmatrix} \Delta X_0 \\ \Delta Y_0 \\ \Delta Z_0 \end{pmatrix} \eta + M_\alpha \begin{pmatrix} \Delta X_0 \\ \Delta Y_0 \\ \Delta Z_0 \end{pmatrix} \alpha + \begin{pmatrix} \Delta X_0 \\ \Delta Y_0 \\ \Delta Z_0 \end{pmatrix} - \begin{pmatrix} \Delta X_{0b} \\ \Delta Y_{0b} \\ \Delta Z_{0b} \end{pmatrix}$ <p>(補正量) (未知量) (未知量) (概算値) (観測地)</p>
256	上から12行目	$m_i = \begin{pmatrix} -(M_i + h_i) \cdot \sin \phi_i \cdot \cos \lambda_i & -(N_i + h_i) \cdot \cos \phi_i \cdot \sin \lambda_i & \cos \phi_i \cdot \cos \lambda_i \\ -(M_i + h_i) \cdot \sin \phi_i \cdot \sin \lambda_i & (N_i + h_i) \cdot \cos \phi_i \cdot \cos \lambda_i & \cos \phi_i \cdot \sin \lambda_i \\ (M_i + h_i) \cdot \cos \phi_i & 0 & \sin \phi_i \end{pmatrix}_{(i=1, 2)}$	$m_i = \begin{pmatrix} -(M_i + h_i) \cdot \sin \phi_i \cdot \cos \lambda_i & -(M_i + h_i) \cdot \cos \phi_i \cdot \sin \lambda_i & \cos \phi_i \cdot \cos \lambda_i \\ -(M_i + h_i) \cdot \sin \phi_i \cdot \sin \lambda_i & (M_i + h_i) \cdot \cos \phi_i \cdot \cos \lambda_i & \cos \phi_i \cdot \sin \lambda_i \\ (M_i + h_i) \cdot \cos \phi_i & 0 & \sin \phi_i \end{pmatrix}_{(i=1, 2)}$
256	上から17行目	$\underline{p} = (\Sigma_{\Delta X, \Delta Y, \Delta Z})^{-1}$	$\underline{p} = (\Sigma_{\Delta X', \Delta Y', \Delta Z'})^{-1}$
256	上から22行目	$\Sigma_{\Delta X, \Delta Y, \Delta Z} : \Delta X, \Delta Y, \Delta Z$ の分散・共分散行列 $\Sigma_{N, E, U} = \begin{pmatrix} \underline{d}_N & 0 & 0 \\ 0 & \underline{d}_E & 0 \\ 0 & 0 & \underline{d}_U \end{pmatrix}$ \underline{d}_N : 水平面の南北方向の分散 \underline{d}_E : 水平面の東西方向の分散 \underline{d}_U : 高さ方向の分散	$\Sigma_{\Delta X, \Delta Y, \Delta Z} : \Delta X, \Delta Y, \Delta Z$ の分散・共分散行列 $\Sigma_{N, E, U} = \begin{pmatrix} d_N & 0 & 0 \\ 0 & d_E & 0 \\ 0 & 0 & d_U \end{pmatrix}$ d_N : 水平面の南北方向の分散 d_E : 水平面の東西方向の分散 d_U : 高さ方向の分散
256	下から7行目	$P = \begin{pmatrix} \sigma_{\Delta X \Delta X} & \sigma_{\Delta X \Delta Y} & \sigma_{\Delta X \Delta Z} \\ \sigma_{\Delta Y \Delta X} & \sigma_{\Delta Y \Delta Y} & \sigma_{\Delta Y \Delta Z} \\ \sigma_{\Delta Z \Delta X} & \sigma_{\Delta Z \Delta Y} & \sigma_{\Delta Z \Delta Z} \end{pmatrix}^{-1}$	$P = \begin{pmatrix} \sigma_{\Delta X \Delta X} & \sigma_{\Delta X \Delta Y} & \sigma_{\Delta X \Delta Z} \\ \sigma_{\Delta Y \Delta X} & \sigma_{\Delta Y \Delta Y} & \sigma_{\Delta Y \Delta Z} \\ \sigma_{\Delta Z \Delta X} & \sigma_{\Delta Z \Delta Y} & \sigma_{\Delta Z \Delta Z} \end{pmatrix}^{-1}$
258	上から19行目	1.2 正規正標高補正計算 (楕円補正) $K = 5.29 \cdot \sin (B_1 + B_2) \frac{B_1 - B_2}{\rho' } \cdot H$	1.2 正規正標高補正計算 (楕円補正) $K = 5.29 \cdot \sin (B_1 + B_2) \frac{B_1 + B_2}{\rho' } \cdot H$

ページ	行	正	誤
258	下から9行目	ΔG : 正標高補正量 (<u>m</u> 単位) g_i, g_j : 水準点 <i>i j</i> における重力値 (地表重力値 <u>m Gal</u> 単位) ΔH : 水準点 <i>i</i> から <i>j</i> の観測高低差 (m単位) γ_0 : 980619.92 m Gal (緯度45°における正規重力値 <u>m Gal</u> 単位) H_i, H_j : 水準点 <i>i j</i> における標高 (正標高 <u>m</u> 単位)	ΔG : 正標高補正量 (mm単位) g_i, g_j : 水準点 <i>i j</i> における重力値 (地表重力値 (m Gal単位) ΔH : 水準点 <i>i</i> から <i>j</i> の観測比高 (m単位) γ_0 : 980619.92 m Gal (緯度45°における正規重力値m Gal単位) H_i, H_j : 水準点 <i>i j</i> における標高 (正標高 (m単位)
260	上から25行目	3.2.1 条件方程式 $b_{11}v_1 + b_{12}v_2 + \dots + b_{1m}v_m + \omega_1 = 0$ $\underline{b_{21}v_1 + b_{22}v_2 + \dots + b_{2m}v_m + \omega_2 = 0}$	3.2.1 条件方程式 $b_{11}v_1 + b_{12}v_2 + \dots + b_{1m}v_m + \omega_1 = 0$ $b_{11}v_1 + b_{22}v_2 + \dots + b_{2m}v_m + \omega_2 = 0$
261	下から7行目に追加	5.1 交互法の計算 5.1.1 自動レベル及び気泡管レベルの場合 $\Delta H = \frac{1}{m} \sum_{i=1}^m a_i - \frac{1}{n} \sum_{j=1}^n b_j$	5.1 交互法の計算 $\Delta H = \frac{1}{m} \sum_{i=1}^m a_i - \frac{1}{n} \sum_{j=1}^n b_j$
261	最後の行に追加	5.1.2 電子レベルの場合 5.1.1の計算式を用いる	
262	上から6行目	ただし、 f_A : A点の反射鏡高 l_A : A点の標尺の <u>cm位</u> までの読み値	ただし、 f_A : A点の反射鏡高位 l_A : A点の標尺のcmまでの読み値
262	下から13行目に追加	$\Delta H = (\Delta H_A - \Delta H_B) / 2$ <u>(注) B点の<i>i_B</i>は、<i>i_A</i>と同様に計算で求める。</u> ただし	$\Delta H = (\Delta H_A - \Delta H_B) / 2$ ただし

ページ	行	正	誤
263	図 5-3	<p style="text-align: center;">図 5. 3</p>	<p style="text-align: center;">図 5. 3</p>
263	上から7行目に追加	$\Delta H = (\Delta H_A - \Delta H_B) / 2$ <p>(注) B点のi_B、h_Aについては、i_A、h_Bと同様に計算で求める。</p> <p><u>ただし</u></p>	$\Delta H = (\Delta H_A - \Delta H_B) / 2$ <p>ΔH : A点とB点の高低差</p>
263	上から13行目	i_A, i_B : A点及びB点の器械高 i_{A1}, i_{A2} : A点の標尺目盛 h_A, h_B : A点及びB点の計算目標高 h_{B1}, h_{B2} : B点の目標板の <u>標尺目盛</u> β_{A1}, β_{A2} : A点の標尺目盛の測定値 (高低角) α_{A1}, α_{A2} : B点の目標板の測定値 (高低角)	i_A, i_B : A点及びB点の器械高 h_A, h_B : A点及びB点の計算目標高 h_{B1}, h_{B2} : B点の目標板の測定値 (高低角) β_{A1}, β_{A2} : A点の標尺目盛の測定値 (高低角) α_A, α_B : B点の目標板の測定値 (高低角)
264	上から22行目	5.4.3 器械の配置別標準偏差の平均値 $m_{t2} = (m_1 + \dots + m_p) / n_p$	5.4.3 器械の配置別標準偏差の平均値 $m_{t2} = (m_1 + \dots + m_n) / n$
264	下から11行目に追加	n : セット数 n_p : 器械の配置別の数	ΔH_0 : 各セットの高低差の平均値 n : セット数
265	上から1行目	m_2 : 渡海水準測量の <u>平均値の標準偏差</u> W : 環閉合差	m_2 : 渡海水準測量の標準偏差の平均値 W_1 : 環閉合差
289	下から11行目	第 <u>73</u> 条	第37条

ページ	行	正	誤																																				
388	表中	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高数値は、電子基準点付属標の標高（単位：mm）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>挿入位置</td> </tr> <tr> <td></td> <td>25.62 挿入位置</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は電子基準点付属標の標高（単位はmm）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>挿入位置</td> </tr> <tr> <td></td> <td>25.62 挿入位置</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高数値は、電子基準点付属標の標高（単位：mm）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>挿入位置</td> </tr> <tr> <td></td> <td>25.62 挿入位置</td> </tr> </table>		基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高数値は、電子基準点付属標の標高（単位：mm）		挿入位置		25.62 挿入位置		基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は電子基準点付属標の標高（単位はmm）		挿入位置		25.62 挿入位置		基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高数値は、電子基準点付属標の標高（単位：mm）		挿入位置		25.62 挿入位置	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高数値は、電子基準点付属標の標高（単位：mm）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>挿入位置</td> </tr> <tr> <td></td> <td>25.62 挿入位置</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は電子基準点付属標の標高（単位はmm）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>挿入位置</td> </tr> <tr> <td></td> <td>25.62 挿入位置</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高数値は、電子基準点付属標の標高（単位：mm）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>挿入位置</td> </tr> <tr> <td></td> <td>25.62 挿入位置</td> </tr> </table>		基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高数値は、電子基準点付属標の標高（単位：mm）		挿入位置		25.62 挿入位置		基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は電子基準点付属標の標高（単位はmm）		挿入位置		25.62 挿入位置		基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高数値は、電子基準点付属標の標高（単位：mm）		挿入位置		25.62 挿入位置
	基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高数値は、電子基準点付属標の標高（単位：mm）																																						
	挿入位置																																						
	25.62 挿入位置																																						
	基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は電子基準点付属標の標高（単位はmm）																																						
	挿入位置																																						
	25.62 挿入位置																																						
	基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高数値は、電子基準点付属標の標高（単位：mm）																																						
	挿入位置																																						
	25.62 挿入位置																																						
	基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高数値は、電子基準点付属標の標高（単位：mm）																																						
	挿入位置																																						
	25.62 挿入位置																																						
	基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は電子基準点付属標の標高（単位はmm）																																						
	挿入位置																																						
	25.62 挿入位置																																						
	基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高数値は、電子基準点付属標の標高（単位：mm）																																						
	挿入位置																																						
	25.62 挿入位置																																						

336	29美術館の次に追加	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">建物等</td> <td rowspan="3">35</td> <td rowspan="3">30</td> <td rowspan="3">老人ホーム</td> <td>一般 道路 河川</td> <td></td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3">点</td> <td rowspan="3">E5</td> <td rowspan="3">4</td> <td rowspan="3"> <ul style="list-style-type: none"> 1. 老人ホームは老人福祉法の老人福祉のうち養護老人ホーム、特別養護老人ホーム及び軽老人ホームをいう。 2. 規模の大きな老人ホームは、注記で表示することを原則とする。ただし、市街地等において重要な地物を抹消するおそれがある場合は記号で表示する。 </td> </tr> <tr> <td>一般 道路 河川</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般</td> <td></td> </tr> </table>	建物等	35	30	老人ホーム	一般 道路 河川			点	E5	4	<ul style="list-style-type: none"> 1. 老人ホームは老人福祉法の老人福祉のうち養護老人ホーム、特別養護老人ホーム及び軽老人ホームをいう。 2. 規模の大きな老人ホームは、注記で表示することを原則とする。ただし、市街地等において重要な地物を抹消するおそれがある場合は記号で表示する。 	一般 道路 河川		一般			
建物等	35	30					老人ホーム	一般 道路 河川								点	E5	4	<ul style="list-style-type: none"> 1. 老人ホームは老人福祉法の老人福祉のうち養護老人ホーム、特別養護老人ホーム及び軽老人ホームをいう。 2. 規模の大きな老人ホームは、注記で表示することを原則とする。ただし、市街地等において重要な地物を抹消するおそれがある場合は記号で表示する。
								一般 道路 河川											
			一般																

351	38防犯灯の次に追加	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">小物体</td> <td rowspan="2">42</td> <td rowspan="2">39</td> <td rowspan="2">風車</td> <td>一般 道路 河川</td> <td></td> <td></td> <td rowspan="2">面</td> <td rowspan="2">E1</td> <td rowspan="2">3</td> <td rowspan="2"> <ul style="list-style-type: none"> 1. 風車は、発電を目的に構築されたものをいう。 </td> </tr> <tr> <td>一般</td> <td></td> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 1. 風車は、発電を目的に構築されたものを表示する。 2. 基部の大きさが図上2.0mm以上のものは、基部の正射影に高塔（図式分類コード 42-35）の記号を適用し、その中央に風車の記号を表示する。 </td> </tr> </table>	小物体	42	39	風車	一般 道路 河川			面	E1	3	<ul style="list-style-type: none"> 1. 風車は、発電を目的に構築されたものをいう。 	一般			<ul style="list-style-type: none"> 1. 風車は、発電を目的に構築されたものを表示する。 2. 基部の大きさが図上2.0mm以上のものは、基部の正射影に高塔（図式分類コード 42-35）の記号を適用し、その中央に風車の記号を表示する。
小物体	42	39					風車	一般 道路 河川							面	E1	3
			一般			<ul style="list-style-type: none"> 1. 風車は、発電を目的に構築されたものを表示する。 2. 基部の大きさが図上2.0mm以上のものは、基部の正射影に高塔（図式分類コード 42-35）の記号を適用し、その中央に風車の記号を表示する。 											

410	取得分類コード表に追加	<table border="1"> <tr> <td>コード</td> <td>項目</td> </tr> <tr> <td>35 30</td> <td>老人ホーム</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>コード</td> <td>項目</td> </tr> <tr> <td>42 39</td> <td>風車</td> </tr> </table>	コード	項目	35 30	老人ホーム	コード	項目	42 39	風車
コード	項目									
35 30	老人ホーム									
コード	項目									
42 39	風車									